



HP Officejet 2620 series

目次

1 HP Officejet 2620 series ヘルプ	1
2 HP Officejet 2620 series を知ろう	3
プリンター各部の名称	4
コントロールパネルとステータスランプ	6
3 印刷	9
ドキュメントの印刷	10
写真の印刷	12
封筒の印刷	13
クイックフォームの印刷	15
最大 dpi を使用した印刷	16
印刷完了のヒント	17
4 用紙の基本	19
推奨する印刷用紙	20
メディアのセット	22
原稿のセット	26
HP 用紙サプライ品の注文	28
5 コピーとスキャン	29
ドキュメントのコピー	30
コンピューターへのスキャン	32
コピー完了のヒント	34
スキャン完了のヒント	35
6 ファクス	37
ファクスの送信	38
ファクスを受信する	43

短縮ダイヤルの設定	47
ファクス設定の変更	49
ファクスおよびデジタル電話サービス	54
インターネット プロトコル経由のファクス	55
レポートの使用	56
スキヤンのヒント	59
7 インク カートリッジのメンテナンス	61
推定インク レベルの確認	62
インク サプライ品の注文	63
正しいインク カートリッジの選択	64
インク カートリッジの交換	65
インクバックアップ機能	67
カートリッジ保証情報	68
インク カートリッジの使用に関するヒント	69
8 接続方式	71
新しいプリンターの接続	72
USB 接続	73
9 問題の解決法	75
紙詰まりの解消	76
インクホルダーのクリア	80
印刷品質の改善	81
印刷できない	85
コピーとスキヤンの問題の解決	89
ファクスの問題を解決する	90
HP サポート	91
付録 A 技術情報	99
Hewlett-Packard 社の告知	100
仕様	101
環境保全のためのプロダクト スチュワード プログラム	105
規制に関する告知	109
付録 B 追加のファクス セットアップ	117
ファクス機能のセットアップ (パラレル方式の電話システム)	118
シリアル方式のファクスのセットアップ	142

ファクス設定のテスト 143

索引 145

1 HP Officejet 2620 series ヘルプ

HP Officejet 2620 series の使用方法

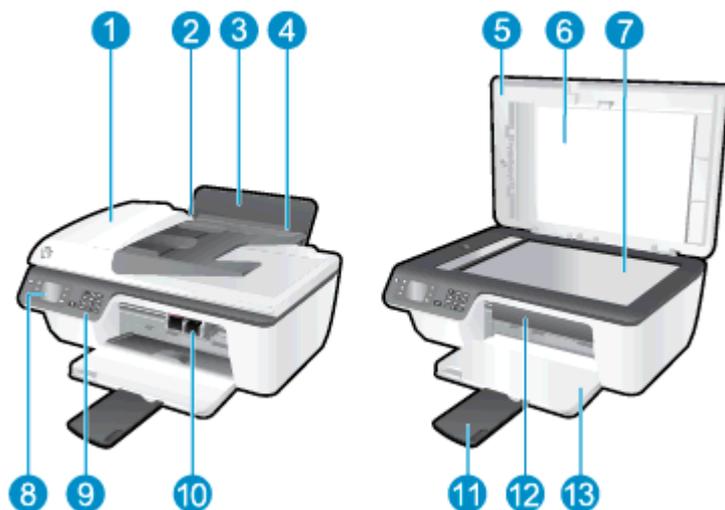
- [4 ページのプリンター各部の名称](#)
- [6 ページのコントロールパネルとステータスランプ](#)
- [22 ページのメディアのセット](#)
- [9 ページの「印刷」](#)
- [30 ページのドキュメントのコピー](#)
- [32 ページのコンピューターへのスキャン](#)
- [62 ページの推定インクレベルの確認](#)
- [65 ページのインクカートリッジの交換](#)
- [76 ページの紙詰まりの解消](#)

2 HP Officejet 2620 series を知ろう

- プリンター各部の名称
- コントロールパネルとステータスランプ

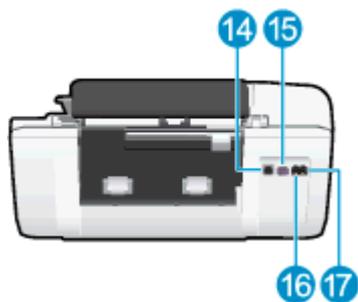
プリンター各部の名称

- 前面図



1	自動ドキュメント フィーダー (ADF)
2	給紙トレイの横方向用紙ガイド
3	給紙トレイ
4	給紙トレイ シールド
5	カバー
6	原稿押さえ
7	スキャナーのガラス面
8	プリンター ディスプレイ
9	コントロール パネル
10	インク カートリッジ
11	延長排紙トレイ (補助トレイ)
12	カートリッジ アクセス ドア
13	排紙トレイ

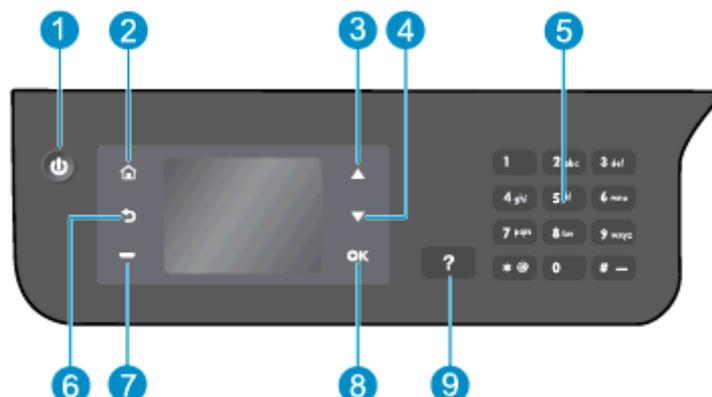
- 背面図



14	USB ポート
15	電源接続
16	ファクス ポート (1-LINE)
17	ファクス ポート (2-EXT)

コントロールパネルとステータスランプ

図 2-1 コントロールパネルの機能



ラベル	説明
1	[オン] ボタン：プリンターの電源のオン、オフを切り替えます。
2	[ホーム] ボタン：ホーム画面に戻ります。この画面は、プリンターの電源をオンにしたときに最初に表示される画面です。
3	[上] ボタン：このボタンを使用してメニュー間を移動し、コピー枚数を選択します。
4	[下] ボタン：このボタンを使用してメニュー間を移動し、コピー枚数を選択します。
5	[キーパッド]：数字やテキストを入力するにはキーパッドを使用します。
6	[戻る] ボタン：前の画面に戻ります。
7	[選択ボタン]：このボタンの機能は、プリンターディスプレイ上の表示内容に応じて変化します。
8	[OK] ボタン：現在の選択を確認します。
9	[ヘルプ] ボタン：ホーム画面では、すべてのヘルプトピックを表示します。他の画面では、現在の操作で役立つ、ディスプレイに関する情報またはアニメーションを表示します。

図 2-2 オン ボタン ランプ



ランプの動作	説明
オフ	プリンターの電源がオフになっています。
淡色表示	プリンターがスリープモードであることを示します。非動作状態が5分続いた後にプリンターが自動的にスリープモードに入ります。
速い点滅	エラーが発生しました。プリンターディスプレイ上のメッセージを参照してください。

ランプの動作	説明
ゆっくりした点滅	プリンターは初期化中またはシャットダウン中であることを示します。
オン	プリンターは印刷中、スキャン中、コピー中、またはオンで、いつでも印刷できる状態です。

3 印刷

- [ドキュメントの印刷](#)
- [写真の印刷](#)
- [封筒の印刷](#)
- [クイック フォームの印刷](#)
- [最大 dpi を使用した印刷](#)
- [印刷完了のヒント](#)

ドキュメントの印刷

用紙をセットするには

1. 排紙トレイが開いていることを確認します。
2. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。



ドキュメントを印刷するには

1. お使いになるソフトウェアの [ファイル] メニューで [印刷] をクリックします。
2. お使いのプリンターが選択されていることを確認します。
3. [プロパティ] ダイアログ ボックスを開くボタンをクリックします。
ソフトウェアによって、このボタンは [プロパティ]、[オプション]、[プリンタ設定]、[プリンタのプロパティ]、[プリンタ]、[プリファレンス] などの名前になっています。
4. 適切なオプションを選択します。
 - [レイアウト] タブで、用紙の向きに [縦] または [横] を選択します。
 - [用紙/品質] タブの [メディア] ドロップダウン リストから、適切な用紙の種類と印刷品質を選択します。
 - [詳細] ボタンをクリックし、[用紙/出力] の [用紙サイズ] ドロップダウン リストから適切な普通紙サイズを選択します。詳細については、[17 ページの印刷完了のヒント](#)を参照してください。
5. [OK] をクリックして、[プロパティ] ダイアログ ボックスを閉じます。
6. 印刷を開始するには、[印刷] または [OK] をクリックします。

ページの両面に印刷するには

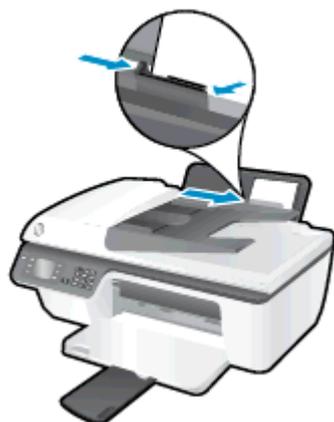
1. ソフトウェアで、[印刷] ボタンをクリックします。
2. お使いのプリンターが選択されていることを確認します。

3. [プロパティ] ダイアログ ボックスを開くボタンをクリックします。
ソフトウェアによって、このボタンは[プロパティ]、[オプション]、[プリンタ設定]、[プリンタのプロパティ]、[プリンタ]、[プリファレンス]などの名前になっています。
4. 適切なオプションを選択します。
 - [レイアウト] タブで、用紙の向きに[縦] または [横] を選択します。
 - [用紙/品質] タブの [メディア] ドロップダウン リストから、適切な用紙の種類と印刷品質を選択します。
 - [詳細] ボタンをクリックし、[用紙/出力] の [用紙サイズ] ドロップダウン リストから適切な用紙サイズを選択します。詳細については、[17 ページの印刷完了のヒント](#)を参照してください。
5. [レイアウト] タブで、[長辺綴じ] または [短辺綴じ] を [手差し両面印刷] ドロップダウン リストから選択します。
6. [OK] をクリックして印刷します。
7. ドキュメントの偶数ページが印刷されたら、排紙トレイからドキュメントを取り出します。
8. 画面の指示に従い、用紙の印刷されていない面を表に向け、ページの先頭を下にして給紙トレイに再セットし、[続行] をクリックします。

写真の印刷

フォト用紙をセットするには

1. 排紙トレイが開いていることを確認します。
2. 給紙トレイからすべての用紙を取り出し、フォト用紙の印刷面を上にしてセットします。



フォト用紙に写真を印刷するには

1. お使いになるソフトウェアの [ファイル] メニューで [印刷] をクリックします。
2. お使いのプリンターが選択されていることを確認します。
3. [プロパティ] ダイアログ ボックスを開くボタンをクリックします。
ソフトウェアによって、このボタンは [プロパティ]、[オプション]、[プリンタ設定]、[プリンタのプロパティ]、[プリンタ]、[プリファレンス] などの名前になっています。
4. 適切なオプションを選択します。
 - [レイアウト] タブで、用紙の向きに [縦] または [横] を選択します。
 - [用紙/品質] タブの [メディア] ドロップダウン リストから、適切な用紙の種類と印刷品質を選択します。
 - [詳細] タブをクリックして、[用紙サイズ] ドロップダウン リストから適切なフォト用紙サイズを選択します。

詳細については、[17 ページの印刷完了のヒント](#)を参照してください。

 **注記：** 最大 dpi 解像度については、[16 ページの最大 dpi を使用した印刷](#)を参照してください。

5. [OK] をクリックして、[プロパティ] ダイアログ ボックスに戻ります。
6. [OK] をクリックして、[印刷]、または [印刷] ダイアログ ボックスの [OK] をクリックします。

 **注記：** 印刷が完了したら、給紙トレイから未使用のフォト用紙を取り出してください。用紙が波打って印刷品質が低下することがないようにフォト用紙を保管してください。

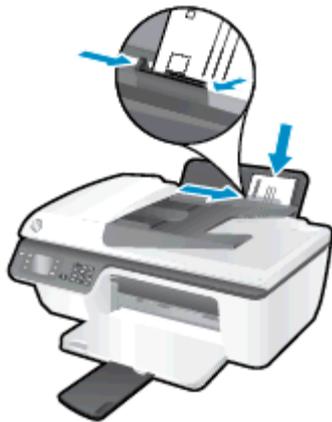
封筒の印刷

HP Officejet 2620 series の給紙トレイには、複数の封筒をセットすることができます。また、光沢紙を使った封筒やエンボス加工された封筒、あるいは留め具付きの封筒や窓付き封筒は使わないでください。

 **注記：** 封筒に印刷するテキストの書式設定については、お使いのワープロソフトのヘルプファイルを参照してください。より美しく仕上げるために、封筒の差出人住所にはラベルの使用をお勧めします。

封筒をセットするには

1. 排紙トレイが開いていることを確認します。
2. 給紙トレイ シールドを上げて、横方向用紙ガイドを左端までスライドさせます。
3. 封筒を給紙トレイの右側に置きます。印刷面を上に向けて置いてください。
4. 封筒をプリンターの奥まで押し入れます。
5. 給紙トレイ シールドを上げて、横方向用紙ガイドを封筒の端にぴったりつくまでスライドさせます。



封筒に印刷するには

1. お使いになるソフトウェアの [ファイル] メニューで [印刷] をクリックします。
2. お使いのプリンターが選択されていることを確認します。
3. [プロパティ] ダイアログ ボックスを開くボタンをクリックします。
ソフトウェアによって、このボタンは [プロパティ]、[オプション]、[プリンタ設定]、[プリンタのプロパティ]、[プリンタ]、[プリファレンス] などの名前になっています。
4. 適切なオプションを選択します。

- [レイアウト] タブで、用紙の向きに [縦] または [横] を選択します。
- [用紙/品質] タブの [メディア] ドロップダウン リストから、適切な用紙の種類と印刷品質を選択します。
- [詳細] タブをクリックして、[用紙サイズ] ドロップダウン リストから適切な封筒用紙サイズを選択します。

詳細については、[17 ページの印刷完了のヒント](#)を参照してください。

5. [OK] をクリックして、[印刷]、または [印刷] ダイアログ ボックスの [OK] をクリックします。

クイック フォームの印刷

[クイック フォーム] を使用して、カレンダー、チェック リスト、ゲーム、ノート用紙、方眼紙、五線紙を印刷できます。

[クイック フォーム] を印刷するには

1. プリンター ディスプレイの ホーム 画面で、[上] ボタンと [下] ボタンを押し、[クイック フォーム] を選択して [OK] を押します。

 **ヒント:** プリンター ディスプレイに [クイック フォーム] オプションが表示されない場合、[ホーム] ボタンを押し、[クイック フォーム] が表示されるまで [上] ボタンと [下] ボタンを押しします。

2. [上] ボタンと [下] ボタンを押し、いずれかの [クイック フォーム] オプションを選択し、[OK] を押します。
3. コピー枚数を指定し、[OK] を押します。

最大 dpi を使用した印刷

フォト用紙に高品質でシャープなイメージを印刷するには、最大 dpi モードを使用します。

最大 dpi で印刷すると、他の設定よりも印刷時間が長くなり、大量のメモリが必要になります。

最大 dpi モードで印刷するには

1. お使いになるソフトウェアの [ファイル] メニューで [印刷] をクリックします。
2. お使いのプリンターが選択されていることを確認します。
3. [プロパティ] ダイアログ ボックスを開くボタンをクリックします。

ソフトウェアによって、このボタンは [プロパティ]、[オプション]、[プリンタ設定]、[プリンタのプロパティ]、[プリンタ]、[プリファレンス] などの名前になっています。

4. [用紙/品質] タブをクリックします。
5. 最大 dpi を使用した印刷を有効にするには、[メディア] ドロップダウン リストから、[フォト用紙、最高画質] を選択する必要があります。
6. [詳細設定] ボタンをクリックします。
7. [プリンタの機能] 領域の印刷品質から [最大 dpi で印刷] を選択します。
8. [用紙サイズ] ドロップダウン リストから適切な用紙サイズを選択します。
9. [OK] をクリックして拡張オプションを閉じます。
10. [レイアウト] タブで、[印刷の向き] を確認し、[OK] をクリックして印刷します。

印刷完了のヒント

印刷に失敗しないためには、HP カートリッジが正しく動作し、インク残量が十分にあり、用紙を正しくセットし、プリンターを適切に設定する必要があります。印刷設定は、コピーまたはスキャンに適用されません。

インクのヒント

- HP 製インク カートリッジを使用します。
- 黒のカートリッジと 3 色カラー カートリッジを正しく装着します。
詳しくは、[65 ページのインク カートリッジの交換](#)を参照してください。
- インク カートリッジの推定インク レベルを確認して、インクが十分にあることを確認します。
詳しくは、[62 ページの推定インク レベルの確認](#)を参照してください。
- 印刷品質に満足できない場合は、[81 ページの印刷品質の改善](#)を参照してください。

用紙をセットするときのヒント

- 用紙の束をセットします (用紙は、1 枚のみをセットしないでください)。紙詰まりを防ぐため、すべて同じサイズと種類の用紙を使用してください。
- 印刷面を上にして用紙をセットします。
- 用紙を給紙トレイに平らに置き、端が折れたり破れたりしないようにセットしてください。
- 用紙がぴったり収まるように、給紙トレイの横方向用紙ガイドを調整してください。横方向用紙ガイドで給紙トレイの用紙を折らないようにしてください。
詳しくは、[22 ページのメディアのセット](#)を参照してください。

プリンター設定のヒント

- デフォルトの印刷設定を変更するには、プリンター ソフトウェアの [印刷、スキャン、ファクス] クリックしてから、[基本設定] をクリックします。
オペレーティング システムに応じて、以下のいずれかを実行してプリンター ソフトウェアを開きます。
 - **Windows 8** : [スタート] で、画面上の何も表示されていない領域を右クリックし、アプリケーションバーの [すべてのアプリ] をクリックして、プリンター名のアイコンをクリックします。
 - **Windows 7、Windows Vista、および Windows XP** : コンピューターのデスクトップで、[スタート] をクリックし、[すべてのプログラム] を選択します。次に、[HP]、[HP Officejet 2620 series]、[HP Officejet 2620 series] の順にクリックします。
- 1 枚の用紙に印刷するページ数を選択するには、[レイアウト] タブで [用紙あたりのページ数] ドロップダウン リストから適切なオプションを選択します。
- 用紙の種類と印刷品質を設定するには、[用紙/品質] タブの [メディア] ドロップダウン リストから、適切なオプションを選択します。
- その他の印刷設定を表示するには、[レイアウト] タブまたは [用紙/品質] タブで、[詳細] ボタンをクリックして [詳細オプション] ダイアログ ボックスを開きます。

- **[グレースケールで印刷]**: 黒のインクだけを使用して、ドキュメントをモノクロで印刷することができます。**[黒インクのみ]**を選択して、**[OK]**をクリックします。
- **[HP Real Life 技術]**: この機能は、画像をなめらかでシャープにし、印刷品質を向上させます。
- **[ブックレット]**: 複数ページの文書をブックレットとして印刷することができます。折り畳むと用紙の半分の大きさのブックレットになるように、用紙の各面にそれぞれ2ページを配置します。ドロップダウンリストから綴じ方を選択し、**[OK]**をクリックします。
 - **[ブックレット-左綴じ]**: ブックレットに折り畳むと左側が綴じる側になります。左から右に読む場合は、このオプションを選択します。
 - **[ブックレット-右綴じ]**: ブックレットに折り畳むと右側が綴じる側になります。右から左に読む場合は、このオプションを選択します。

 **注記:** **[レイアウト]** タブのプレビューには、**[ブックレット]** ドロップダウン リストで選択した内容は反映されません。

- **[用紙あたりのページ数のレイアウト]**: 1 枚の用紙に 3 ページ以上が含まれるドキュメントを印刷する場合に、ページの順序を指定することができます。

 **注記:** **[レイアウト]** タブのプレビューには、**[用紙あたりのページ数のレイアウト]** ドロップダウン リストで選択した内容は反映されません。

- **[ページ枠]**: 1 枚の用紙に 3 ページ以上が含まれるドキュメントを印刷する場合に、ページに境界線を追加することができます。

 **注記:** **[レイアウト]** タブのプレビューには、**[ページ境界線]** ドロップダウン リストで選択した内容は反映されません。

注意

- HP 製インク カートリッジは、HP プリンターおよび用紙で最高の性能が得られるように設計され、何度もテストされています。

 **注記:** 他社製サプライ品の品質および信頼性は保証できません。HP 製以外のサプライ品を使用した結果、必要になったサービスや修理については保証対象になりません。

ご購入の製品が HP 純正カートリッジと思われる場合は、次のサイトをご覧ください。
www.hp.com/go/anticounterfeit

- インク レベルの警告およびインジケーターが示すインク レベルは、インク交換のタイミングを示す予測にすぎません。

 **注記:** インク残量が少ないという警告メッセージが表示されたら、印刷できなくなる前に交換用のカートリッジを準備してください。印刷品質が使用に耐えないレベルに達するまでインク カートリッジを交換する必要はありません。

- 印刷ドライバで選択したソフトウェア設定は、印刷にのみ適用されます。コピーまたはスキャンには適用されません。
- ドキュメントを用紙の両面に印刷できます。

4 用紙の基本

HP プリンターには、さまざまな種類やサイズの用紙をセットできます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- [推奨する印刷用紙](#)
- [メディアのセット](#)
- [原稿のセット](#)
- [HP 用紙サプライ品の注文](#)

推奨する印刷用紙

最高画質で印刷するには、印刷するプロジェクトのタイプに合わせて設計された HP 純正用紙を推奨します。

国/地域によっては、入手できない用紙もあります。

ColorLok

- HP は一般文書の印刷やコピーには ColorLok ロゴが入った普通紙をお勧めしています。ColorLok ロゴが入った用紙はすべて高い信頼性および印刷品質基準に適合するよう独自にテストされており、通常の普通紙に比べ、くっきり鮮明な黒色を再現し、乾燥が速い文書を実現します。ColorLok ロゴ入り用紙は、さまざまな重さとサイズのものでメーカーにより提供されています。



フォトプリント

- **HP プレミアム プラス フォト用紙**

HP プレミアム プラス フォト用紙は、お客様の大切な写真のために HP が提供する高画質フォト用紙です。HP プレミアム プラス フォト用紙をご使用になれば、写真をきれいに印刷でき、速乾性があるためその場で皆に渡すことができます。用紙サイズには、A4、8.5 x 11 インチ、10 x 15 cm (4 x 6 インチ)、13 x 18 cm (5 x 7 インチ)、A3 (11 x 17 インチ) などがあり、いずれも光沢またはソフト光沢 (半光沢) という 2 種類の仕上げがあります。お客様の大切な写真や特別な写真をフレームに入れたり、飾ったり、プレゼントしたりするのに最適です。HP プレミアム プラス フォト用紙は、最高級の品質と抜群の耐光性を備えています。

- **HP アドバンス フォト用紙**

この厚手のフォト用紙はすぐ乾くので汚れにくく取り扱いが簡単です。水、染み、指紋、湿気への抵抗性に優れています。プリントショップの仕上がりに似た印刷品質が得られます。用紙サイズには、A4、8.5 x 11 インチ、10 x 15 cm、13 x 18 cm などがあります。ドキュメントを長持ちさせる無酸性用紙です。

- **HP エヴリデイ フォト用紙**

カラフルな一般のスナップ写真を低コストで印刷できる、カジュアルな写真印刷向け用紙です。手ごろな価格で、すぐ乾くので取り扱いが簡単です。インクジェットプリンターで使用すれば、鮮明で、くっきりしたイメージが得られます。用紙サイズには、A4、8.5 x 11 インチ、10 x 15 cm などがあり、いずれも光沢仕上げです。写真を長持ちさせる無酸性用紙です。

ビジネス文書

- **HP プレミアム プレゼンテーション用紙 または HP プロフェッショナル用紙 120**

両面印刷が可能な厚手つや消し用紙です。プレゼンテーション、企画書、レポート、ニュースレター等に最適です。素晴らしい見た目や質感を実現する厚手用紙です。

- **HP ブローシャ用紙 または HP プロフェッショナル用紙 180**

両面印刷に対応できるように、両面に光沢またはつや消しコーティングが施されています。写真に近い品質の印刷や、レポートのカバー、特別なプレゼンテーション、カタログ、宣伝用リーフレット、カレンダーなどに使用するビジネス用のグラフィックの印刷にお勧めします。

普通の印刷

- **HP インクジェット用上質普通紙**

インクジェット用上質普通紙を使用すると、ハイコントラストの色とシャープな文字で印刷されます。ある程度の厚みがあり両面カラー印刷をしても裏写りしないため、ニュースレターやレポート、広告などに最適です。にじみの少ない、くっきり鮮明な色を再現する ColorLok テクノロジーを採用しています。

- **HP プリント用紙**

HP 印刷用紙は、高品質の多目的用紙です。標準の多目的用紙やコピー用紙と比べて、見た目も質感も重量感のあるしっかりした文書を作成できます。にじみの少ない、くっきり鮮明な色を再現する ColorLok テクノロジーを採用しています。ドキュメントを長持ちさせる無酸性用紙です。

- **HP オフィス用紙**

HP オフィス用紙は、高品質の多目的用紙です。コピー、原稿、メモなど、毎日の使用に適しています。にじみの少ない、くっきり鮮明な色を再現する ColorLok テクノロジーを採用しています。ドキュメントを長持ちさせる無酸性用紙です。

- **HP オフィス用再生紙**

HP オフィス用再生紙は、リサイクル繊維を 30% 含む高品質の多目的用紙です。にじみの少ない、くっきり鮮明な色を再現する ColorLok テクノロジーを採用しています。

特殊な印刷

- **HP アイロン プリント紙**

HP アイロン プリント紙 (淡色または白地用) を使用すると、デジタル写真からオリジナル T シャツを作成できます。

メディアのセット

用紙サイズを選択して続行します。

フルサイズ用の紙をセットするには

1. 給紙トレイを上げます。



2. 排紙トレイを下げて、延長排紙トレイを引き出します。



3. 給紙トレイ シールドを上げて、横方向用紙ガイドを左側にスライドさせます。



4. 用紙の短辺を下げ、印刷面を上にした状態で、用紙の束を給紙トレイに挿入し、奥まで差し込みます。



5. 横方向用紙ガイドを、用紙の端に当たって止まるまで右にスライドさせます。



小さなサイズの内紙をセットするには

1. 給紙トレイを上げます。



2. 排紙トレイを下げ、延長排紙トレイを引き出します。



3. 給紙トレイ シールドを上げて、横方向用紙ガイドを左にスライドし、すべての用紙を給紙トレイから取り除きます。



4. フォト用紙の短辺を下げ、印刷面を上にした状態で、フォト用紙の束を挿入し、奥まで差し込みます。



5. 給紙トレイ シールドを上げて、横方向用紙ガイドを、用紙の端に当たって止まるまで右にスライドさせます。

封筒をセットするには

1. 給紙トレイを上げます。



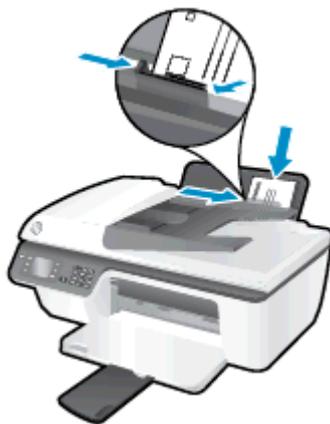
2. 排紙トレイを下げ、延長排紙トレイを引き出します。



3. 給紙トレイ シールドを上げて、横方向用紙ガイドを左にスライドし、すべての用紙を給紙トレイから取り除きます。



4. 1枚以上の封筒を給紙トレイの右端に寄せて挿入し、封筒の束を奥まで差し込みます。
印刷面を上に向けて置いてください。封筒のフタが左側にきて下向きになるようにします。



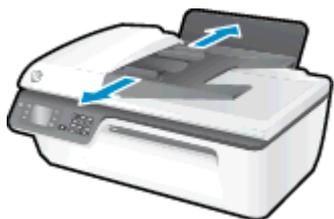
5. 給紙トレイ シールドを上げて、横方向用紙ガイドを、封筒に当たって止まるまで右にスライドさせます。

原稿のセット

原稿を、印刷面を上にして自動ドキュメントフィーダー (ADF) にセットするか、印刷面を下にしてスキャナーのガラス面の右下隅に合わせてセットします。

自動ドキュメントフィーダーに原稿をセットするには

1. 横方向用紙ガイドを外側にスライドさせます。



2. 自動ドキュメントフィーダーに、印刷面を上にし、先頭を下にして原稿をセットします。



3. 横方向用紙ガイドを、用紙の端に当たって止まるまで内側にスライドさせます。



スキャナーのガラス面に原稿をセットするには

1. スキャナーのカバーを持ち上げます。



2. 原稿を、印刷面を下にしてスキャナーのガラス面の右下隅に合わせてセットします。



3. スキャナー カバーを閉じます。



HP 用紙サプライ品の注文

このプリンターはほとんどの種類のオフィス用紙に対応しています。最適な印刷品質をお求めの場合は HP 用紙をご使用ください。HP 用紙の詳細については、HP Web サイト www.hp.com をご覧ください。

HP は一般文書の印刷やコピーには ColorLok ロゴが入った普通紙をお勧めしています。ColorLok ロゴが入った用紙はすべて高い信頼性および印刷品質基準に適合するよう独自にテストされており、通常の普通紙に比べ、くっきり鮮明な黒色を再現し、乾燥が速い文書を実現します。ColorLok ロゴ入り用紙は、さまざまな重さとサイズのものがメーカーにより提供されています。

HP 用紙を購入するには、[製品 & サービスのオンラインストア](#) にアクセスし、インク、トナー、および用紙を選択します。

5 コピーとスキャン

- [ドキュメントのコピー](#)
- [コンピューターへのスキャン](#)
- [コピー完了のヒント](#)
- [スキャン完了のヒント](#)

ドキュメントのコピー

プリンターディスプレイの[コピー]メニューで、モノクロコピーまたはカラーコピーを開始し、コピー枚数を選択できます。用紙の種類とサイズの変更、コピーの濃さの調整、コピーのサイズ変更など、コピー設定もすぐに変更できます。

モノクロまたはカラーコピーを作成するには

1. 給紙トレイに用紙をセットします。



2. 原稿を、印刷面を上にして自動ドキュメントフィーダーにセットするか、印刷面を下にしてスキヤナーのガラス面の右下隅に合わせてセットします。

用紙のセット方法の詳細については、[26 ページの原稿のセット](#)を参照してください。

3. プリンターのディスプレイのホーム画面で[コピー]を選択し、[OK]を押して[コピー]メニューを表示します。

プリンターディスプレイに[コピー]が表示されない場合は、[ホーム]ボタンを押して、[コピー]が表示されるまで[上]と[下]ボタンを押します。

4. [コピー]メニューから、[コピー枚数]を選択してコピーの枚数を決定し、[OK]を押して確認します。
5. [モノクロコピーの開始]または[カラーコピーの開始]を選択し、[OK]を押してモノクロまたはカラーコピーを作成します。

その他のコピー機能

[コピー]メニューで、[[上]]ボタンと[[下]]ボタンを押して設定を選択します。

- [用紙の種類]: 用紙サイズと用紙タイプを選択します。普通紙設定は、普通紙の通常の印刷品質で印刷します。フォト用紙設定は、フォト用紙の最高の品質で印刷します。
- [リサイズ]: コピーする画像またはドキュメントのサイズを調節します。

- **[実物大]**: 原稿のサイズと同じサイズのコピーを作成します。ただし、コピーされた画像の余白が狭くなる可能性があります。
- **[ページに合わせる]**: コピーを中央に配置し、周囲を白の枠で囲みます。リサイズされたイメージは、選択した出力用紙のサイズに合わせて拡大または縮小されます。

 **注記:** **[ページに合わせる]**が適切に機能するように、スキャナーのガラス面に汚れがないことを確認してください。

- **[カスタム サイズ]**: 100% より大きい値を選択して画像サイズを拡大したり、100% より小さい値を選択して画像サイズを縮小したりできます。
- **[ID カード コピー]**: ID カードの両面をコピーできます。
- **[薄く/濃く]**: コピーを薄くしたり濃くしたりするには、コピー設定を調整します。

 **注記:** 2分間操作がない場合、コピー オプションは自動的に普通紙 A4 または 8.5 x 11 インチ (地域によって異なります) のデフォルト設定に戻ります。

コンピューターへのスキャン

コンピューターにスキャンするには、プリンターとコンピューターとを接続して電源をオンにする必要があります。プリンターのコントロールパネルまたはコンピューターからスキャンできます。1つのページを画像ファイルにすばやくスキャンする場合は、コントロールパネルからスキャンします。複数のページを1つのファイルにスキャンする、スキャンのファイルフォーマットを定義する、またはスキャンされた画像を調整する場合は、コンピューターからスキャンします。

スキャンを準備するには

1. 原稿を、印刷面を上にして自動ドキュメントフィーダーにセットするか、印刷面を下にしてスキャナーのガラス面の右下隅に合わせてセットします。

用紙のセット方法の詳細については、[26 ページの原稿のセット](#)を参照してください。

2. スキャンを開始します。

プリンターのコントロールパネルからスキャンするには

1. プリンターディスプレイのホーム画面から [スキャン] を選択します。プリンターディスプレイに [スキャン] が表示されない場合は、[ホーム] ボタンを押して、[スキャン] が表示されるまで [上] と [下] ボタンを押します。
2. [コンピューターにスキャン] を選択します。
3. プリンターディスプレイからスキャン先のコンピューターを選択します。

プリンターディスプレイ上のリストにコンピューターが表示されない場合、コンピューターがプリンターに USB ケーブルで接続されていることを確認してください。

コンピューターからスキャンするには

1. オペレーティングシステムに応じて、以下のいずれかを実行してプリンターソフトウェアを開きます。
 - Windows 8 : [スタート] で、画面上の何も表示されていない領域を右クリックし、アプリバーの [すべてのアプリ] をクリックして、プリンター名のアイコンをクリックします。
 - Windows 7、Windows Vista、および Windows XP : コンピューターのデスクトップで、[スタート] をクリックし、[すべてのプログラム] を選択します。次に、[HP]、[HP Officejet 2620 series]、[HP Officejet 2620 series] の順にクリックします。
2. プリンターソフトウェアで [印刷、スキャン、ファクス] アイコンをクリックし、[ドキュメントまたは写真のスキャン] を選択します。
3. ショートカットメニューから希望のスキャンの種類を選択し、[スキャン] をクリックします。

 **注記：** [スキャンのプレビューの表示] が選択されている場合、プレビュー画面でスキャンされた画像を調整できます。

4. アプリケーションを別のスキャン用に開いたままにする場合は **[保存]** を選択します。アプリケーションを終了するには、**[完了]** を選択します。
5. スキャンを保存すると、スキャンの保存先のディレクトリで Windows Explorer ウィンドウが開きます。

 **注記：** 同時にスキャン機能を有効にすることができるコンピューターの数に限られています。プリンター ディスプレイ上で **[スキャン]** を選択すると、現在スキャンすることが可能なコンピューターを一覧できます。

コピー完了のヒント

- スキャナーのガラス面をきれいにして、付着物等がないことを確認してください。
- 印刷出力のコントラストの強弱を調整するには、プリンター ディスプレイから [コピー] を選択し、[薄く/濃く] を選択してコントラストを調整します。
- 印刷出力の用紙サイズと用紙の種類を選択するには、プリンター ディスプレイから [コピー] を選択します。 [コピー] メニューから [用紙の種類] を選択し、普通紙またはフォト用紙、およびフォト用紙のサイズを選択します。
- 画像のサイズを変更するには、プリンター ディスプレイから [コピー] を選択し、[サイズの変更] を選択します。

スキャン完了のヒント

- スキャナーのガラス面をきれいにし、付着物等がないことを確認してください。
- プリンター ディスプレイから [スキャン] を選択した後、プリンター ディスプレイ上のプリンターのリストからスキャン先のコンピューターを選択します。
- 複数のページがあるドキュメントを複数のファイルでなく1つのファイルにスキャンする場合、プリンター ディスプレイから [スキャン] を選択する代わりに プリンター ソフトウェア でスキャンを開始します。

6 ファクス

本プリンターを使用して、カラーファクスなどのファクスを送受信できます。ファクスにスケジュールを設定し後で送信できるようにしたり、短縮ダイヤルを設定してよくかける電話番号にすばやく簡単にファクスを送信できます。プリンターのコントロールパネルから、送信するファクスの解像度や濃淡のコントラストなどのさまざまなファクスオプションを設定することができます。

 **注記：** ファクスを使用する前に、ファクスを使用できるようにプリンターを正しくセットアップしていることを確認してください。初期設定時に、コントロールパネル、またはプリンター付属の HP ソフトウェアを使用してセットアップが完了している場合もあります。ファクス機能が正しく設定されているかどうかは、コントロールパネルからファクスセットアップテストを実行して確かめることができます。ファクステストの詳細については、[143 ページのファクス設定のテスト](#)を参照してください。

- [ファクスの送信](#)
- [ファクスを受信する](#)
- [短縮ダイヤルの設定](#)
- [ファクス設定の変更](#)
- [ファクスおよびデジタル電話サービス](#)
- [インターネット プロトコル経由のファクス](#)
- [レポートの使用](#)
- [スキャンのヒント](#)

ファクスの送信

さまざまな方法でファクスを送信できます。プリンターのコントロールパネルから、モノクロまたはカラーのファクスを送信できます。付属の電話機から手動でファクスを送信することもできます。この方法では、ファクスを送信する前に受信者との通話が可能です。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- [標準ファクスの送信](#)
- [コンピューターから標準的なファクスを送信する](#)
- [電話からのファクスの手動送信](#)
- [ダイヤルモニタリングを使用してファクスを送信する](#)
- [後で送信するためにファクスをスケジュール設定する](#)
- [エラー補正モードでのファクス送信](#)

標準ファクスの送信

1 ページまたは複数ページのモノクロファクスまたはカラーファクスをプリンターのコントロールパネルを使って簡単に送信できます。

 **注記：** ファクスの送信に成功したことを示す確認メッセージを印刷する必要がある場合は、ファクス送受信の確認を有効にする必要があります。

 **ヒント：** 電話やダイヤルモニタ機能を使用して、ファクスを手動で送信することもできます。この機能では、ダイヤルする間隔を指定できます。通話料金をテレホンカードで支払いたいときなど、ダイヤル中にトーン音に応答する必要があるときに、この機能は役に立ちます。

プリンターのコントロールパネルから標準ファクスを送信するには

1. 原稿を、印刷面を上にして自動ドキュメントフィーダーにセットするか、印刷面を下にしてスキャナーのガラス面の右下隅に合わせてセットします。

用紙のセット方法の詳細については、[26 ページの原稿のセット](#)を参照してください。

2. プリンターディスプレイのホーム画面で [上] ボタンと [下] ボタンを押し、[ファクス] を選択して [OK] を押します。
3. [モノクロファクス] または [カラーファクス] を選択します。

原稿が自動ドキュメントフィーダーにセットされている場合、入力した番号宛にドキュメントが送信されます。自動ドキュメントフィーダーに原稿が検出されない場合、操作の選択を求めるメッセージが表示されます。

 **ヒント：** 受信者からの知らせで、送信したファクスの品質に問題があった場合は、ファクスの解像度やコントラストを変えてみます。

4. キーパッドを使用して新しいファクス番号を入力し、[OK] を押します。

 **ヒント：** 入力するファクス番号間に一定の間隔を入れるには、ディスプレイにダッシュ記号 ([-]) が表示されるまで [*] を押します。

コンピューターから標準的なファクスを送信する

コピーを印刷してそれをプリンターからファクスしなくても、コンピューター上のドキュメントをファクスとして送信できます。

 **注記：** この方法でコンピューターから送信されたファクスは、インターネット接続またはコンピューター モデムではなく、プリンターのファクス接続を使用します。したがって、プリンターが正常に機能している電話回線に接続されていること、ファクス機能がセットアップされ正しく動作していることを確認する必要があります。

この機能を使用するには、プリンターに同梱されている HP ソフトウェア CD を使用して、プリンターソフトウェアをインストールする必要があります。

コンピューターから標準的なファクスを送信するには

1. コンピューター上で、ファクスするドキュメントを開きます。
2. お使いのソフトウェア アプリケーションの [ファイル] メニューで [印刷] をクリックします。
3. [名前] リストで、名前に [“fax”] が付いたプリンターを選択します。
4. モノクロ ファクスまたはカラー ファクスとしてドキュメントを送信するように設定するなど、設定を変更するには、[プロパティ] ダイアログ ボックスを開くボタンをクリックします。ソフトウェアによって、このボタンは [プロパティ]、[オプション]、[プリンタ設定]、[プリンタ]、[プリファレンス] などの名前になっています。
5. 設定を変更した後で、[OK] をクリックします。
6. [印刷] または [OK] をクリックします。
7. 受信者のファクス番号およびその他の情報を入力して、さらにファクス設定を変更してから、[ファクスの送信] をクリックします。プリンターはファクス番号のダイヤルとドキュメントのファクス送信を開始します。

電話からのファクスの手動送信

手動ファクス送信では、電話をして、ファクスを送信する前に相手と話をすることができます。ファクスを送信する前に相手に送信することを伝えたい場合は、この方法が便利です。ファクスを手動で送信するときは、発信音、音声ガイダンス、その他の音声電話の受話器から聞こえます。このため、ファクスの送信にコーリングカードが使用しやすくなります。

受信者側のファクス機の設定状態によって、受信者が電話に出たり、ファクス機が応答する場合があります。受信者が電話に出たら、ファクスを送信する前に会話をすることができます。ファクス機が応答した場合、受信中のファクス機からトーン音が聞こえてから、そのファクス機に直接ファクスを送信できます。

子機からファクスを手動で送信するには

1. 原稿を、印刷面を上にして自動ドキュメント フィーダーにセットするか、印刷面を下にしてスキヤナーのガラス面の右下隅に合わせてセットします。

用紙のセット方法の詳細については、[26 ページの原稿のセット](#)を参照してください。
2. プリンター ディスプレイの ホーム 画面で [上] ボタンと [下] ボタンを押し、[ファクス] を選択して [OK] を押します。

3. プリンターに接続された電話のダイヤルキーから、番号をダイヤルします。

 **注記：** ファクスを手動で送信する場合はプリンターのコントロールパネル上のキーパッドは使用しないでください。受信者の番号をダイヤルするには、電話機のダイヤルを押します。

4. 受信者が応答した場合、ファクスを送信する前に会話をすることができます。

 **注記：** ファクス機が応答すると、受信中のファクス機からファクスのトーン音が聞こえます。次の手順に進んで、ファクスを送信します。

5. ファクスを送信する準備ができたなら、[OK] を押して [新しいファクスを送信] を選択し、[モノクロ] または [カラー]。

ファクス送信前に受信者と話している場合は、ファクスのトーン音が聞こえたらファクス機の [ファクスを手動で受信] ボタンを押すように、前もって受信者に知らせてください。

ファクスの送信中は、電話回線は無音になります。この時点で、受話器を置くことができます。ファクス受信が完了した後、受信者と続けて話をする場合は、電話を切らないでください。

ダイヤル モニタリングを使用してファクスを送信する

ダイヤルのモニタ機能を使用すると、通常の電話をダイヤルするようにプリンターのコントロールパネルから番号をダイヤルできます。ダイヤルのモニタ機能を使用してファクスを送信する際には、ダイヤルのトーン音、電話の応答メッセージ、またはその他の音がプリンターのスピーカーを通して聞こえます。これにより、ダイヤル中に音声ガイダンスに応答することも、ダイヤルするペースを指定することもできます。

 **ヒント：** コーリングカードを使用する場合、コーリングカード PIN の入力が遅すぎると、プリンターによるファクス音の送信開始のタイミングが早すぎて、コーリングカード PIN がコーリングカードサービスによって認識されないことがあります。この場合には、コーリングカードの PIN を登録する短縮ダイヤル エントリを作成できます。詳しくは、[47 ページの短縮ダイヤルの設定](#)を参照してください。

 **注記：** ダイヤル トーンを聞いて、ボリュームがオンになっていることを確認します。

プリンターのコントロールパネルからダイヤルのモニタ機能を使用してファクスを送信するには

1. 原稿を、印刷面を上にして自動ドキュメントフィーダーにセットするか、印刷面を下にしてスキャナーのガラス面の右下隅に合わせてセットします。

用紙のセット方法の詳細については、[26 ページの原稿のセット](#)を参照してください。

2. プリンターディスプレイのホーム画面で [上] ボタンと [下] ボタンを押し、[ファクス] を選択して [OK] を押します。

3. [モノクロ ファクス] または [カラー ファクス] を選択します。

- プリンターが自動ドキュメントフィーダーにセットされた原稿を検出すると、ダイヤル トーンが聞こえます。
- 原稿がスキャナーのガラス面にセットされている場合、[ガラス面からのファクス] を選択します。

4. ダイヤル トーンが聞こえたら、デバイスのコントロール パネルのキーパッドで番号を入力します。
5. 音声ガイダンスがあれば、従ってください。

受信側のファクス機が応答すると、ファクスが送信されます。

後で送信するためにファクスをスケジュール設定する

モノクロのファクスを 24 時間以内に送信するようスケジュール設定することができます。これにより、電話回線の混雑が少なく、電話料金が割安の夜間にモノクロのファクスを送信できます。プリンターが、指定された時刻に自動的にファクスを送信します。

ファクスのスケジュール設定ができる原稿は、一度に 1 件のみです。ファクスのスケジュール設定がされている状態でも、通常のファクス送信が可能です。

 **注記：** メモリから送信できるのはモノクロ ファクスだけです。

プリンターのコントロールパネルからファクスをスケジュール設定するには

1. 自動ドキュメントフィーダーに、印刷面を上にして原稿をセットします。
用紙のセット方法の詳細については、[26 ページの原稿のセット](#)を参照してください。
2. プリンター ディスプレイの ホーム 画面で [上] ボタンと [下] ボタンを押し、[ファクス] を選択して [OK] を押します。
3. [設定]、[ファクスのスケジュール] を順に選択します。
4. [上] ボタンと [下] ボタンを押し、ファクスの遅延時間を入力し、[OK] を押し確認します。
5. ダイヤル トーンが聞こえたら、デバイスのコントロール パネルのキーパッドで番号を入力します。
6. [スキャン]、[開始] を順に選択し、[OK] を押します。

プリンターはすべてのページをスキャンし、予定時刻にファクスを送信します。

スケジュールされたファクスをキャンセルするには

1. プリンター ディスプレイの ホーム 画面で [上] ボタンと [下] ボタンを押し、[ファクス] を選択して [OK] を押します。
2. [設定]、[ファクスのスケジュール] を順に選択します。
3. 削除するスケジュール済みファクスを選択し、[削除] を選択し、[OK] を押します。

エラー補正モードでのファクス送信

[エラー補正モード] (ECM) は、ファクスの転送中に発生したエラーを検出し、自動的にエラー部分の再転送を要求することで、電話回線の不良によるデータの喪失を防止します。良好な状態の電話回線においては電話料金に影響が及ぶことはなく、場合によってはむしろ安くなることもあります。電話回線の状態が悪い場合、ECM にすることで送信時間と電話料金は増えますが、送信するデータの信頼性が高くなります。デフォルトの設定は [オン] です。ECM によって電話料金が極端に上がる場合や、電話料金を下げる代わりに品質が劣化してもかまわない場合にのみ、ECM をオフにしてください。

ECM 設定をオフにする前に、以下を検討してください。ECM をオフにする場合：

- 送受信するファクスの品質と送信速度に影響があります。
- [ファクス速度] が自動的に [標準] に設定されます。
- カラー ファクスの送受信を行うことができなくなります。

コントロールパネルから ECM 設定を変更するには

1. プリンターディスプレイのホーム画面で [上] ボタンと [下] ボタンを押し、[ファクス] を選択して [OK] を押します。
2. [設定]、[詳細設定] を順に選択します。
3. [エラー補正] を選択します。
4. を押して [ON] または [OFF] を選択し、[OK] を押します。

ファクスを受信する

ファクスは自動または手動で受信できます。[自動応答] オプションをオフにすると、ファクスは手動で受信しなければなりません。[自動応答] オプションをオン(デフォルト設定)にすると、プリンターは [応答呼出し回数] 設定で設定した呼び出し回数の後、自動的に着信に回答してファクスを受信します(デフォルトの [応答呼出し回数] 設定は5回です)。

プリンターでリーガルサイズ(216 mm x 279 mm)の用紙の使用が設定されていないときに、リーガルサイズまたはそれより大きなサイズのファクスを受信すると、プリンターにセットされている用紙に収まるようにファクスのサイズが自動で縮小されます。

 **注記：** ファクスの受信時にドキュメントをコピーしていると、受信されたファクスはコピーが完了するまでプリンターのメモリに保存されます。これにより、メモリに保存されるファクス ページ数を削減できます。

- [ファクスの手動受信](#)
- [受信済みファクスのメモリからの再印刷](#)
- [別の番号へのファクスの転送](#)
- [ファクス受信用の用紙サイズの設定](#)
- [迷惑なファクス番号の拒否](#)

ファクスの手動受信

電話中に接続を維持しながら、通話先の相手からファクスを送ってもらうことができます。これをファクスの手動受信と呼びます。このセクションでは、ファクスを手動受信する方法について説明します。

 **注記：** 受話器を取り上げて話すか、ファクス トーンを聞くことができます。

次のように設定した電話で、ファクスを手動受信することができます。

- プリンターの2-EXTポートに直接接続された電話
- 同じ電話回線上にあるが、プリンターに直接接続されていない電話

ファクスを手動で受信するには

1. プリンターの電源が入っていることと、給紙トレイに用紙がセットされていることを確認してください。
2. 自動ドキュメントフィーダーから原稿を取り除きます。
3. プリンターが応答する前に、ユーザーが着信に回答できるように、[応答呼出し回数] を多めに設定します。または、[自動応答] の設定をオフにし、プリンターが自動的に受信ファクスに回答しないようにします。
4. 送信者と電話がつながっている場合は、相手のファクス機で [新しいファクスを送信] を押すように指示します。
5. 送信中のファクス機からファクス トーンが聞こえたら、次の操作を行います。

- a. プリンターディスプレイのホーム画面で[上]ボタンと[下]ボタンを押して[ファクス]を選択し、[OK]を押し、[ファクスを手動で受信]を選択します。
- b. ファクス受信が始まったら、受話器を置くことも、通話を続けることもできます。ファクスの転送中、電話回線は無音になります。

受信済みファクスのメモリからの再印刷

印刷されていない受信済みファクスは、メモリに保存されます。

 **注記:** メモリに空きがなくなったら、ファクスを印刷するか、メモリからファクスを削除するまで、プリンターは新しいファクスを受信できなくなります。セキュリティまたはプライバシー保護のために、メモリ内のファクスを削除することもできます。

メモリに保存されたファクスの容量に応じて、メモリにまだ保存されていれば、最近印刷したファクスを最大8件まで再印刷することができます。たとえば、最後に受信したプリントアウトをなくしても、ファクスを再印刷できます。

プリンターのコントロールパネルから、メモリに保存されているファクスを再印刷するには

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。詳しくは、[22 ページのメディアのセット](#)を参照してください。
2. プリンターディスプレイのホーム画面で[上]ボタンと[下]ボタンを押し、[ファクス]を選択して[OK]を押しします。
3. [設定]、[ファクスの再印刷]
受信したときとは逆の順序で、直前に受信したファクスが最初に表示されます。
4. 印刷するファクスを選択して、[印刷]を選択します。
5. ファクスの再印刷を停止する場合は、[キャンセル]を選択し、[OK]を押しします。

別の番号へのファクスの転送

ファクスを別のファクス番号に転送するようにプリンターを設定することができます。受信したカラーファクスはモノクロで転送されます。

転送の前に、転送先のファクス番号を確認することをお勧めします。テストでファクスを送信し、転送先のファクス機がファクスを受信できるか確認してください。

プリンターのコントロールパネルからファクスを転送するには

1. プリンターディスプレイのホーム画面で[上]ボタンと[下]ボタンを押し、[ファクス]を選択して[OK]を押しします。
2. [設定]、[詳細設定]を順に選択します。
3. [ファクス転送]、[ファクス転送]の順に選択します。

4. **[オンで印刷可能]** を選択してファクスを印刷して転送するか、**[オン]** を選択してファクスを転送します。

 **注記：** プリンターが指定したファクス機にファクスを転送できない場合 (指定したファクス機の電源が入っていない場合など)、プリンターはファクスを印刷します。受信したファクスのエラー レポートを印刷するようにプリンターを設定した場合、エラー レポートも印刷されます。

5. 指示画面で、転送先ファクス機の番号を入力して、**[完了]** を選択します。以下の各指示画面で、必要な情報を入力します。開始日、開始時間、終了日、終了時間。

6. ファクス転送がオンになります。**[OK]** を選択して確認します。

ファクスの転送が設定されているときに停電になると、プリンターはファクスの転送設定と電話番号を保存します。プリンターの電源が復帰したときには、ファクスの転送設定は **[オン]** の状態のままです。

 **注記：** **[ファクスの転送]** メニューの **[オフ]** を選択すると、ファクスの転送をキャンセルできます。

ファクス受信用の用紙サイズの設定

受信ファクスの用紙サイズを選択できます。用紙サイズは、給紙トレイにセットした用紙に合わせて設定します。ファクスはレター用紙、A4 用紙、またはリーガル用紙にのみ印刷できます。

 **注記：** ファクスを受信したときに不適当な用紙サイズが給紙トレイにセットされていると、ファクスを印刷しないで、ディスプレイにエラー メッセージが表示されます。ファクスを印刷するには、レター用紙、A4 用紙、リーガル用紙のいずれかをセットして、**[OK]** を押します。

プリンターのコントロールパネルから、ファクス受信用の用紙サイズを設定するには

1. プリンターディスプレイのホーム画面で **[上]** ボタンと **[下]** ボタンを押し、**[ファクス]** を選択して **[OK]** を押します。
2. **[設定]** を選択します。
3. **[ファクス用紙サイズ]** を選択して、オプションを選択します。

迷惑なファクス番号の拒否

電話会社を介して着信識別サービスに登録すると、特定のファクス番号を拒否して、このファクス番号から着信したファクスをプリンターが印刷しないようにすることができます。着信ファクスを受信すると、プリンターは迷惑ファクス番号一覧の番号と比較して、着信ファクスを拒否するかどうかを判断します。ファクス番号が拒否ファクス番号一覧内の番号に一致する場合、そのファクスは印刷されません (拒否できるファクス番号の最大数は、モデルによって異なります)。

 **注記：** この機能は、一部の国/地域ではサポートされていません。サポートしていない国/地域では、**[迷惑ファクスを拒否]** が **[ファクス オプション]** または **[ファクス設定]** メニューに表示されません。

 **注記：** 発信者 ID リストに電話番号が 1 つも追加されていない場合は、発信者 ID サービスに登録していないと考えられます。

- [迷惑ファクス一覧に番号を追加](#)

- [迷惑ファクス一覧から番号を削除](#)

迷惑ファクス一覧に番号を追加

迷惑ファクス リストに特定番号を追加することで、その番号をブロックできます。

迷惑ファクス一覧に番号を追加するには

1. プリンター ディスプレイの ホーム 画面で [上] ボタンと [下] ボタンを押し、[ファクス] を選択して [OK] を押します。
2. [設定]、[迷惑ファクス] を順に選択します。
3. 迷惑ファクスを拒否するために着信識別が必要であることを示すメッセージが表示されます。[OK] クリックして続行します。
4. [番号を追加] を選択します。
5. 着信識別一覧から拒否するファクス番号を選択するには、[着信履歴から選択] を選択します。
- または -
拒否するファクス番号を手動で入力するには、[新しい番号の入力] を選択します。
6. 拒否するファクス番号を入力したら、[完了] を選択します。

 **注記：** 受信したファクスのヘッダーに表示されている番号は実際と異なる場合があるので、ヘッダーの番号ではなく、コントロールパネルのディスプレイに表示されるファクス番号を入力してください。

迷惑ファクス一覧から番号を削除

ファクス番号を拒否する必要がなくなった場合は、その番号を迷惑ファクス一覧から削除することができます。

迷惑ファクス番号リストから番号を削除するには

1. プリンター ディスプレイの ホーム 画面で [上] ボタンと [下] ボタンを押し、[ファクス] を選択して [OK] を押します。
2. [設定]、[迷惑ファクス] を順に選択します。
3. 削除するファクス番号を選択し、[番号の削除] を選択します。
4. [OK] クリックして削除を確定します。

短縮ダイヤルの設定

頻繁に使うファクス番号は、短縮ダイヤル エントリとして設定できます。そうすれば、プリンターのコントロールパネルからすぐにダイヤルすることができます。

 **ヒント：** プリンターのコントロールパネルから短縮ダイヤル エントリを作成および管理できるだけでなく、プリンターに付属の HP ソフトウェアなど、お使いのコンピューターで利用可能なツールを使用することもできます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- [短縮ダイヤルを設定および変更する](#)
- [短縮ダイヤルを削除する](#)

短縮ダイヤルを設定および変更する

ファクス番号を短縮ダイヤル エントリとして保存することができます。

短縮ダイヤル エントリを設定するには

1. プリンター ディスプレイの ホーム 画面で [上] ボタンと [下] ボタンを押し、[ファクス] を選択して [OK] を押します。
2. [設定]、[電話帳] を順に選択します。
3. [連絡先を追加] を選択します。
4. 連絡先の名前を入力して、[次へ] を選択します。
5. ファクス番号を入力し、[完了] を選択します。

 **注記：** 市外局番、PBX システム外の番号のアクセスコード (通常は 9 または 0)、長距離電話のプレフィックスなど、間隔や他の必要な番号を含めてください。

短縮ダイヤル エントリを変更するには

1. プリンター ディスプレイの ホーム 画面で [上] ボタンと [下] ボタンを押し、[ファクス] を選択して [OK] を押します。
2. [設定]、[電話帳] を順に選択します。
3. 変更するエントリを選択し、[OK] を選択します。
4. [編集] を選択し、ファクス名を変更して [次へ] を選択します。
5. ファクス番号を変更し、[次へ] を選択します。

 **注記：** 市外局番、PBX システム外の番号のアクセスコード (通常は 9 または 0)、長距離電話のプレフィックスなど、間隔や他の必要な番号を含めてください。

短縮ダイヤルを削除する

短縮ダイヤル エントリを削除するには

1. プリンターディスプレイのホーム画面で [上] ボタンと [下] ボタンを押し、[ファクス] を選択して [OK] を押します。
2. [設定]、[電話帳] を順に選択します。
3. 削除するエントリを選択し、[削除] を選択して確定します。

ファクス設定の変更

以下の方法で初期設定を変更するか、ファクスのその他のオプションを設定します。

- [ファクスのヘッダーを設定する](#)
- [応答モード\(自動応答\)を設定する](#)
- [応答までの呼出し回数の設定](#)
- [着信識別応答呼び出し音のパターンの変更](#)
- [ダイヤル方式を設定する](#)
- [リダイヤルオプションを設定する](#)
- [ファクス速度の設定](#)
- [ファクス音量の設定](#)

ファクスのヘッダーを設定する

ファクスのヘッダーを使用すると、すべての送信ファクスの上部に名前とファクス番号が印刷されます。プリンターに付属している HP ソフトウェアを使用してファクスのヘッダーを設定するようにしてください。また、ここでの説明に従ってプリンターのコントロールパネルからファクスのヘッダーを設定することもできます。

 **注記：** 一部の国または地域では、法令等によりファクスのヘッダー情報の明記が義務付けられています。

ファクスのヘッダーを設定または変更するには

1. プリンター ディスプレイの ホーム 画面で [上] ボタンと [下] ボタンを押し、[ファクス] を選択して [OK] を押します。
2. [設定]、[ファクスのヘッダー] を順に選択します。
3. 個人名または会社名およびファクス番号を入力し、[完了] を選択します。

応答モード(自動応答)を設定する

応答モードでは、プリンターが着信に自動で応答するかどうかを設定します。

- ファクスに**自動応答**するには、[自動応答] 設定をオンにします。プリンターが、すべての着信とファクスに自動で応答します。
- ファクスに**手動**で応答するには、[自動応答] をオフにします。受信ファクスに**手動**で応答するには、ユーザーが手動で受信操作をしなければなりません。この操作を行わないと、プリンターはファクスを受信しません。

応答モードを設定するには

1. プリンター ディスプレイの ホーム 画面で [上] ボタンと [下] ボタンを押し、[ファクス] を選択して [OK] を押します。
2. [設定] を選択します。
3. [自動応答] を選択し、[オン] または [オフ] を選択して、[OK] を押します。

応答までの呼び出し回数の設定

[自動応答] 設定をオンにした場合、デバイスが自動的に着信音に応答するまでの呼び出し回数を指定できます。

[応答呼び出し回数] 設定は、特にプリンターと同じ電話回線で留守番電話を使用している場合に重要です。プリンターが応答する前に留守番電話で応答する必要があるからです。プリンターの応答呼び出し回数を、留守番電話が応答する回数よりも多く設定する必要があります。

たとえば、留守番電話の呼び出し回数を少なくし、プリンターの呼び出し回数を最大数に設定します。(呼び出しの最大回数は、国/地域によって異なります。) この設定では、留守番電話が電話に応答し、プリンターが電話回線を監視します。プリンターがファクス受信音を検出した場合、プリンターはファクスを受信します。着信が電話の場合は、留守番電話が着信のメッセージを録音します。

応答までの呼び出し回数を設定するには

1. プリンター ディスプレイの ホーム 画面で [上] ボタンと [下] ボタンを押し、[ファクス] を選択して [OK] を押します。
2. [設定]、[詳細設定] を順に選択します。
3. [呼び出し設定]、[応答呼び出し回数] を順に選択します。
4. 上矢印または下矢印を選択して呼び出し回数を変更します。
5. [OK] ボタンを選択して設定を確定します。

着信識別応答呼び出し音のパターンの変更

多くの電話会社から、1本の電話回線で複数の電話番号を持てる着信識別音機能が提供されています。この着信識別サービスでは、番号ごとに異なる呼び出し音のパターンが割り当てられます。プリンターが特定の呼び出し音の着信に応答するように設定することができます。

着信識別音が設定されている電話回線にプリンターを接続する場合は、電話会社に音声着信の呼び出し音とファクス受信の呼び出し音を、それぞれ別に割り当ててもらいます。ファクス番号には、2回または3回の呼び出し音を割り当てることをお勧めします。プリンターは、指定した呼び出し音のパターンを検出したときに、ファクスの受信を開始します。

 **ヒント:** プリンターのコントロールパネルにある呼び出し音のパターン検出機能を使用して、着信識別を設定することもできます。この機能により、プリンターは着信に基づいてこの着信の呼び出し音のパターンを認識および記録し、電話会社によってファクス受信に割り当てられた着信識別音のパターンを自動的に特定します。

着信識別サービスを使用していない場合は、デフォルトの呼び出し音パターン [すべての呼び出し] を使用してください。

 **注記:** メインの電話番号の受話器が外れている場合、プリンターはファクスを受信できません。

着信識別応答呼び出し音のパターンを変更するには

1. プリンターがファクスの呼び出しに自動応答するよう設定されていることを確認します。
2. プリンター ディスプレイの ホーム 画面で [上] ボタンと [下] ボタンを押し、[ファクス] を選択して [OK] を押します。
3. [設定]、[詳細設定] を順に選択します。
4. [呼び出し設定]、[応答呼び出し音のパターン] を順に選択します。
5. 同じ電話回線に複数の番号がある場合以外はこの設定を変更しないように警告するメッセージが表示されます。 [はい] を選択して続行します。
6. 次のいずれかを実行してください。
 - 電話会社によってファクス受信に割り当てられた呼び出し音のパターンを選択します。
- または -
 - [自動検出] を選択し、プリンターのコントロール パネルの指示に従います。

 **注記：** 呼び出し音のパターン検出機能が呼び出し音のパターンを検出できなかった場合、または検出の完了前にキャンセルされた場合には、自動的にデフォルト ([すべての呼び出し音]) に設定されます。

 **注記：** 内部呼び出しと外部呼び出しで呼び出し音のパターンが異なる PBX 電話システムを使用している場合は、ファクス番号を外部番号から呼び出す必要があります。

ダイヤル方式を設定する

トーンダイヤルモードまたはパルスダイヤルモードに設定するには、次の手順に従います。工場出荷時のデフォルトの設定は、[トーン] です。電話回線でトーンダイヤルを使用できないことがわかっている場合以外は、この設定を変更しないでください。

 **注記：** パルスダイヤルオプションは、一部の国/地域では利用できません。

ダイヤル方式を設定するには

1. プリンター ディスプレイの ホーム 画面で [上] ボタンと [下] ボタンを押し、[ファクス] を選択して [OK] を押します。
2. [設定]、[詳細設定] を順に選択します。
3. [ダイヤルの種類] を選択し、[トーンダイヤル] または [パルスダイヤル] を選択して [OK] を押します。

リダイヤルオプションを設定する

受信側のファクス機が応答しないか、ビジー状態であるためにプリンターがファクスを送信できなかった場合、プリンターはビジーリダイヤルまたは応答なしリダイヤルオプションの設定に応じてリダイヤルします。このオプションのオンとオフを切り替えるには、次の手順を実行します。

- **ビジー状態のとき:** このオプションがオンの場合、プリンターはビジー信号を受け取ると自動的にリダイヤルします。このオプションの工場出荷時のデフォルト設定は、**[リダイヤルする]** です。
- **応答がないとき:** このオプションがオンの場合、受信側のファクス機が応答しないとプリンターは自動的にリダイヤルします。このオプションの工場出荷時のデフォルト設定は、**[リダイヤルしません]** です。

リダイヤルオプションを設定するには

1. プリンターディスプレイのホーム画面で **[上]** ボタンと **[下]** ボタンを押し、**[ファクス]** を選択して **[OK]** を押します。
2. **[設定]**、**[自動リダイヤル]** を順に選択します。
3. 適切なオプションを選択して、**[OK]** を押します。

ファクス速度の設定

ファクスの送受信時に、お使いのプリンターと他のファクス機間でのデータ通信に使用するファクス速度を設定できます。

以下のサービスを使用している場合は、必要に応じて、ファクス速度の設定を遅くします。

- インターネット電話サービス
- PBX システム
- FoIP (Fax over Internet Protocol)
- ISDN (総合デジタル通信網) サービス

ファクスの送受信時に問題が発生した場合、**[ファクス速度]** をより小さい値に設定しなおしてください。以下の表に、選択できるファクス速度の設定を示します。

ファクス速度の設定	ファクス速度
[はやい]	v.34 (33600 bps)
[標準]	v.17 (14400 bps)
[おそい]	v.29 (9600 bps)

ファクス速度を設定するには

1. プリンターディスプレイのホーム画面で **[上]** ボタンと **[下]** ボタンを押し、**[ファクス]** を選択して **[OK]** を押します。
2. **[設定]**、**[詳細設定]** を順に選択します。
3. **[ファクス速度]** を選択します。
4. オプションを選択して、**[OK]** を押します。

ファクス音量の設定

この手順を使用してファクスの音量を調整することができます。

ファクス音量を設定するには

1. プリンター ディスプレイの ホーム 画面で [上] ボタンと [下] ボタンを押し、[ファクス] を選択して [OK] を押します。
2. [設定]、[詳細設定] を順に選択します。
3. [呼び出し設定]、[ファクス サウンドの音量] を順に選択します。
4. [小さい]、[大きい]、または [オフ] を選択して [OK] を押します。

ファクスおよびデジタル電話サービス

電話会社の多くは、次のようなデジタル電話サービスをお客様に提供しています。

- DSL：電話会社を通じてデジタル加入者線 (DSL) を利用 (DSL は、国/地域によっては ADSL と呼ばれています)。
- PBX：構内交換機 (PBX) システム。
- ISDN：ISDN (総合デジタル通信網) システム。
- FoIP：インターネットを使用することで、プリンターを使用してファクスの送受信ができる低コストの電話サービス。この方法は、FoIP (Fax over Internet Protocol) と呼ばれます。詳しくは、[55 ページのインターネットプロトコル経由のファクス](#)を参照してください。

HP プリンターは、従来のアナログ電話サービスで使用するよう設計されています。デジタル電話環境 (DSL/ADSL、PBX、ISDN など) にいる場合は、プリンターでファクス送受信を設定するときにデジタル-アナログ フィルターまたはコンバーターを使用する必要があります。

 **注記：** HP では、プリンターが、すべてのデジタル環境で、すべてのデジタル-アナログ コンバーターと一緒に、すべてのデジタル サービス回線またはプロバイダーに対して使用できることを保証しません。提供される回線サービスに基づいた適切なセットアップオプションについて、電話会社に直接問い合わせることを常にお勧めします。

インターネット プロトコル経由のファクス

インターネットを使用することで、プリンターを使用してファクスの送受信ができる低コストの電話サービスに登録することもできます。この方法は、FoIP(Fax over Internet Protocol) と呼ばれます。

次の条件に当てはまる場合、(契約している電話会社が提供する) FoIP サービス を使用できます。

- ファクス番号と一緒に特別のアクセス コードをダイヤルしている
- インターネットに接続する IP コンバータ ボックスがあり、ファクス接続用のアナログ電話ポートがある

 **注記:** ファクスの送受信は、電話コードをプリンターの "1-LINE" ポートに接続しているときしか行えません。つまり、インターネット接続は、コンバータ ボックス (ファクス接続用に通常のアナログ電話ジャックを装備) または電話会社経由で行う必要があるということです。

 **ヒント:** インターネット プロトコルの電話システムを介した従来のファクス送信のサポートは、多くの場合、制限されています。ファクスの使用で問題が起きたら、ファクス速度を遅くするか、ファクスのエラー補正モード (ECM) を無効にしてください。ただし、ECM をオフにすると、カラー ファクスを送受信できなくなります。ファクス速度の変更の詳細については、[52 ページのファクス速度の設定](#)を参照してください。ECM の使用の詳細については、[41 ページのエラー補正モードでのファクス送信](#)を参照してください。

インターネット ファクスについて質問がある場合は、インターネット ファクス サービス サポート部門、またはお近くのサービス プロバイダにお問い合わせください。

レポートの使用

ファクスを送受信するたびに、エラー レポートおよび確認レポートを自動的に印刷するようにプリンターを設定できます。システム レポートを必要に応じて手動で印刷することもできます。これらのレポートには、プリンターに関する重要なシステム情報が記載されています。

デフォルトでは、プリンターは、ファクスの送受信で問題が発生した場合にのみレポートを印刷するように設定されています。ファクスの送信に成功したことを示す確認メッセージが、ファクスの送受信のたびにコントロールパネルのディスプレイに短い時間表示されます。

 **注記：** レポートが判読できない場合は、コントロールパネル、または HP ソフトウェアから推定インク レベルを確認できます。

 **注記：** インク レベルの警告およびインジケータは、インク交換の準備を促すことを目的としています。インク残量が少ないという警告が表示されたら、印刷が滞らないよう、交換用のカートリッジを準備してください。指示があるまで、インク カートリッジを交換する必要はありません。

 **注記：** プリントヘッドとインク カートリッジが良好な状態で、正しく取り付けられていることを確認してください。詳しくは、[61 ページの「インク カートリッジのメンテナンス」](#)を参照してください。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- [ファクス確認レポートの印刷](#)
- [ファクス ログを印刷および表示する](#)
- [ファクス処理レポートの印刷](#)
- [発信者 ID レポートの印刷](#)
- [発着信履歴の表示](#)

ファクス確認レポートの印刷

ファクスの送信に成功したことを示す確認メッセージを印刷する必要がある場合は、次の指示に従ってファクスを送信する前にファクス送受信の確認を有効にします。

デフォルトのファクス確認設定は、**[エラーの場合のみ]** です。

 **注記：** **[ファクスの送信後]** または **[常時稼働]** を選択する場合と、メモリから送信するファクスをスキャンするか、**[スキャンとファクス]** オプションを使用する場合は、ファクス送信確認レポートにファクスの最初のページの画像を含めることができます。

ファクス送受信の確認を有効にするには

1. プリンターディスプレイのホーム画面で **[上]** ボタンと **[下]** ボタンを押し、**[ファクス]** を選択して **[OK]** を押します。
2. **[設定]**、**[詳細設定]**、**[ファクスの確認]** の順に選択します。
3. 次のいずれかのオプションを選択し、**[OK]** を押します。

[オフ]

ファクスの送受信に問題がない時は、ファクス確認レポートを印刷しません。

[ファクスの送信後]	ファクスの送信ごとにファクス確認レポートを印刷します。
[ファクスの受信後]	ファクスの受信ごとにファクス確認レポートを印刷します。
[常時稼働]	ファクスの送受信ごとにファクス確認レポートを印刷します。
[エラーの場合のみ]	ファクスのエラーごとにファクス確認レポートを印刷します。これはデフォルト設定です。

ファクス ログを印刷および表示する

プリンターが送受信したファクスのログを印刷できます。

プリンターのコントロールパネルからファクス ログを印刷するには

1. プリンター ディスプレイの ホーム 画面で [上] ボタンと [下] ボタンを押し、[ファクス] を選択して [OK] を押します。
2. [設定]、[詳細設定]、[ファクス レポート] の順に選択します。
3. [ファクス ログ] を選択し、[OK] を押します。

ファクス処理レポートの印刷

ファクス処理レポートには、最近行ったファクス処理の詳細が印刷されます。レポートには、ファクス番号、ページ数、ファクスのステータスが記載されます。

ファクス処理レポートを印刷するには

1. プリンター ディスプレイの ホーム 画面で [上] ボタンと [下] ボタンを押し、[ファクス] を選択して [OK] を押します。
2. [設定]、[詳細設定]、[ファクス レポート] の順に選択します。
3. [最終処理レポート] を選択し、[OK] を押します。

発信者 ID レポートの印刷

次の手順で着信識別ファクス番号リストを印刷します。

着信識別履歴を印刷するには

1. プリンター ディスプレイの ホーム 画面で [上] ボタンと [下] ボタンを押し、[ファクス] を選択して [OK] を押します。
2. [設定]、[詳細設定]、[ファクス レポート] の順に選択します。
3. [着信識別レポート] を選択し、[OK] を押します。

発着信履歴の表示

プリンター上のすべての発着信を印刷するには、次の手順を使用します。

発着信履歴を表示するには

1. プリンターディスプレイのホーム画面で [上] ボタンと [下] ボタンを押し、[ファクス] を選択して [OK] を押します。
2. [設定]、[迷惑ファクス] を順に選択します。
3. [番号を追加] を選択し、[着信識別履歴から選択] を選択して [OK] を押します。

スキャンのヒント

- 原稿を、印刷面を上にして自動ドキュメントフィーダーにセットするか、印刷面を下にしてスキャナーのガラス面の右下隅に合わせてセットします。

用紙のセット方法の詳細については、[26 ページの原稿のセット](#)を参照してください。

- スキャナーのガラス面をきれいにして、付着物等がないことを確認してください。
- カラー ファクスを送信する場合は、[エラー補正モード] (ECM) をオンにしてください。

ECM の詳細については、[41 ページのエラー補正モードでのファクス送信](#)を参照してください。

- メモリに空きがなくなったら、ファクスを印刷するか、メモリからファクスを削除するまで、プリンターはファクスを受信できなくなります。

メモリ内のファクスを再印刷する方法については、[44 ページの受信済みファクスのメモリからの再印刷](#)を参照してください。

- プリンターが特定の呼び出し音の着信に应答するように設定することができます。1つの電話回線で複数の電話番号を使用できるサービスを電話会社と契約している場合にのみ、この機能を使用してください。

7 インク カートリッジのメンテナンス

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- [推定インク レベルの確認](#)
- [インク サプライ品の注文](#)
- [正しいインク カートリッジの選択](#)
- [インク カートリッジの交換](#)
- [インクバックアップ機能](#)
- [カートリッジ保証情報](#)
- [インク カートリッジの使用に関するヒント](#)

推定インク レベルの確認

インク レベルを簡単にチェックして、いつ頃インク カートリッジを交換すれば良いか知ることができます。インク レベルは、インク カートリッジの推定インク残量を示しています。

プリンターのコントロールパネルから推定インクレベルを確認するには

- プリンター ディスプレイの ホーム 画面から、[インク レベル] を選択します。プリンターに現在のインク レベルが表示されます。

 **注記：** ホーム 画面が表示されない場合は、[ホーム] ボタンを押してください。

プリンターソフトウェアからインク レベルを確認するには

1. オペレーティング システムに応じて、以下のいずれかを実行して プリンター ソフトウェア を開きます。
 - Windows 8 : [スタート] で、画面上の何も表示されていない領域を右クリックし、App バーの [すべての Apps] をクリックして、プリンター名のアイコンをクリックします。
 - Windows 7、Windows Vista、Windows XP : コンピューターのデスクトップで、[スタート] をクリックし、[すべてのプログラム] を選択します。次に、[HP]、[HP Officejet 2620 series]、[HP Officejet 2620 series] の順にクリックします。
2. プリンター ソフトウェア で、[推定インクレベル] をクリックします。

 **注記：** 再充填または再生されたインク カートリッジや、別のプリンターで使用されていたインク カートリッジを取り付けた場合、インク レベル インジケーターが不正確であったり、表示されない場合があります。

 **注記：** インク レベルの警告およびインジケーターが示すインク レベルは、インク交換のタイミングを示す予測にすぎません。インク残量が少ないという警告メッセージが表示されたら、印刷できなくなる前に交換用のインク カートリッジを準備してください。印刷の品質が使用に耐えないレベルに達するまでインク カートリッジを交換する必要はありません。

 **注記：** インク カートリッジのインクは、印刷処理のさまざまな場面で消費されます。初期化処理でプリンターとカートリッジの印刷準備を行う際や、プリントヘッドのクリーニングでプリントノズルをクリーニングしてインクの流れをスムーズにする際にも消費されます。また、使用済みインク カートリッジ内にはある程度のインクが残っています。詳細については、www.hp.com/go/inkusage を参照してください。

インク サプライ品の注文

カートリッジを注文する前に、正しいカートリッジ番号を確認してください。

プリンターのカートリッジ番号を確認する

- カートリッジ番号はカートリッジ アクセス ドアの内側に記載されています。



プリンター ソフトウェア でカートリッジ番号を確認する

1. オペレーティング システムに応じて、以下のいずれかを実行してプリンター ソフトウェアを開きます。
 - Windows 8 : [スタート] で、画面上の何も表示されていない領域を右クリックし、App バーの [すべての Apps] をクリックして、プリンター名のアイコンをクリックします。
 - Windows 7、Windows Vista、Windows XP : コンピューターのデスクトップで、[スタート] をクリックし、[すべてのプログラム] を選択します。次に、[HP]、[HP Officejet 2620 series]、[HP Officejet 2620 series] の順にクリックします。
2. プリンター ソフトウェア で [ショッピング] をクリックし、[サプライ品のオンライン購入] をクリックし、画面の指示に従います。

HP Officejet 2620 series 用の HP 製サプライ品を注文するには、www.hp.com/buy/supplies にアクセスしてください。指示に従って、お住まいの国/地域を選択し、製品を選択して、ページ上のショッピングリンクの1つをクリックします。

 **注記：** インク カートリッジのオンライン注文は、取り扱っていない国/地域もあります。お住まいの国または地域でお取り扱いがなくても、サプライ品情報を確認したり、一覧を印刷して最寄りの HP 販売店でのご購入時の参考にすることができます。

正しいインク カートリッジの選択

HP では、HP 製インク カートリッジの使用を推奨しています。HP 製インク カートリッジは、HP プリンターで最高の性能が得られるように設計され、何度もテストされています。

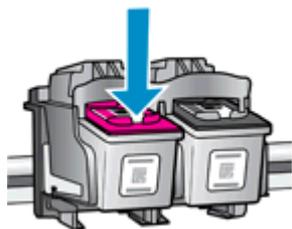
インク カートリッジの交換

インク カートリッジを交換するには

1. 電源が入っていることを確認します。
2. 用紙をセットします。
3. インク カートリッジを取り外します。
 - a. カートリッジ アクセス ドアを開いて、インク ホルダーがプリンターの中央に移動するまで待ちます。



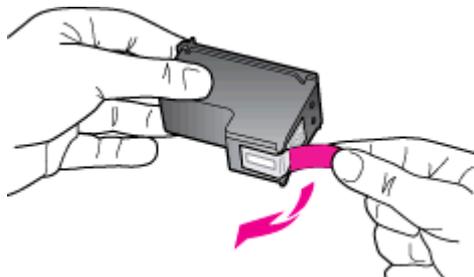
- b. インク カートリッジを下に押しして固定を解除し、スロットから取り外します。



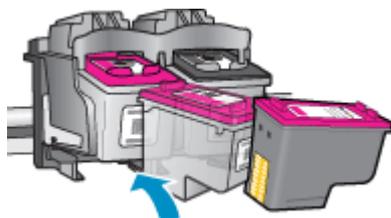
4. 新しいインク カートリッジを差し込みます。
 - a. インク カートリッジをパッケージから取り出します。



- b. ピンクをつまみを引っ張ってビニールテープをはがします。



- c. カチッと音がするまでインクカートリッジをスロットに押し込みます。



- d. カートリッジアクセスドアを閉じます。



 **注記：** 新しいインクカートリッジを取り付けた後にドキュメントを印刷すると、HP プリンターソフトウェアはインクカートリッジを調整するための指示を表示します。

インクバックアップ機能

シングルカートリッジモードでは、HP Officejet 2620 series は1つのインクカートリッジのみを使用します。インクカートリッジをインクカートリッジホルダーから取り外すと、シングルカートリッジモードになります。

 **注記：** HP Officejet 2620 series がシングルカートリッジモードで動作すると、画面にメッセージが表示されます。プリンターに2つのインクカートリッジを取り付けているときにメッセージが表示された場合は、各インクカートリッジのビニールテープの保護シートがはがされていることを確認してください。保護テープがインクカートリッジの接触部分を覆っていると、プリンターはインクカートリッジが取り付けられたことを検出できません。

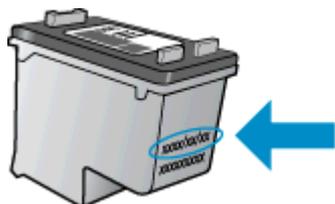
シングルカートリッジモードを終了するには

- HP Officejet 2620 series に黒のカートリッジと3色カラーカートリッジを装着してシングルカートリッジモードを終了します。

カートリッジ保証情報

HP カートリッジの保証は、指定された HP 製プリンティング デバイスで使用された場合に適用されます。この保証は、詰め替え、再生、刷新、誤用、改造のいずれかを受けた HP インク カートリッジには適用されません。

保証期間内に HP インクを使い切っていないこと、保証期限が切れていないことがカートリッジに保証が適用される条件です。保証期限は図のように、YYYY/MM/DD 形式でカートリッジに記載されています。



HP 限定保証条項については、プリンターに付属の印刷ドキュメントを参照してください。

インク カートリッジの使用に関するヒント

インク カートリッジを使用するには、次のヒントを参考にしてください。

- インク カートリッジを乾燥から守るには、常に [オン] ボタンを使用してプリンターの電源を切り、[オン] ボタンのランプが消えるまで待ちます。
- インク カートリッジを取り付ける準備ができるまで、インク カートリッジを開けたり、テープをはがしたりしないでください。テープをインク カートリッジにつけておくことで、インクの蒸発を減らすことができます。
- インク カートリッジを正しいスロットに差し込みます。各インク カートリッジの色とアイコンが、各スロットの色とアイコンに合うようにします。インク カートリッジを必ず正しい位置にカチッとはめ込みます。
- 新しいインク カートリッジを差し込んだ後に、最適な印刷品質のためにプリンターを調整します。詳細については、[81 ページの印刷品質の改善](#)を参照してください。
- プリンター ソフトウェアの推定インク レベルで1つまたは両方のインク カートリッジのインク残量が少ないことが示されたら、印刷できなくなる前に交換用のインク カートリッジを準備してください。印刷品質が使用に耐えないレベルに達するまでインク カートリッジを交換する必要はありません。詳細については、[65 ページのインク カートリッジの交換](#)を参照してください。
- 何らかの理由でプリンターからインク カートリッジを取り外した場合、できるだけ早くカートリッジを戻してください。プリンターから外され、保護されない状態にあると、インク カートリッジは乾燥し始めます。

8 接続方式

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- [新しいプリンターの接続](#)
- [USB 接続](#)

新しいプリンターの接続

プリンターをコンピューターに接続していない場合、または同一モデルの別の新しいプリンターをコンピューターに接続する場合、**[新しいプリンタの接続]** 機能を使用して接続をセットアップできます。

 **注記：** プリンター ソフトウェア がすでにインストールされている場合は、この方法を使用します。

1. オペレーティング システムに応じて、以下のいずれかを実行します。
 - **Windows 8：** [スタート] 画面の何も表示されていない領域を右クリックし、アプリ バーの [すべてのアプリ] をクリックします。
 - **Windows 7、Windows Vista、および Windows XP：** コンピューターのデスクトップで、[スタート] をクリックし、[すべてのプログラム] を選択します。次に、[HP] をクリックしてから、[HP Officejet 2620 series] をクリックします。
2. [プリンタのセットアップとソフトウェア] を選択します。
3. [新しいプリンタを接続する] を選択します。画面の指示に従います。

USB 接続

HP Officejet 2620 series には、コンピューターに接続するための後部 USB 2.0 High Speed ポートがあります。

USB ケーブルを使用してプリンターを接続するには

1. コンピューターの CD-ROM ドライブにプリンター ソフトウェア CD を挿入します。
2. 画面の指示に従います。指示に従って、[接続オプション] 画面の [USB] を選択してプリンターをコンピューターに接続します。

 **注記：** USB ケーブルは、ソフトウェアからの指示があるまでプリンターに接続しないでください。

3. 画面の指示に従います。

プリンター ソフトウェアがインストールされている場合、プリンターはプラグ アンド プレイ デバイスとして動作します。ソフトウェアがインストールされていない場合、プリンターに付属している CD を挿入し、画面の指示に従います。

9 問題の解決法

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- [紙詰まりの解消](#)
- [インクホルダーのクリア](#)
- [印刷品質の改善](#)
- [印刷できない](#)
- [コピーとスキャンの問題の解決](#)
- [ファクスの問題を解決する](#)
- [HP サポート](#)

紙詰まりの解消

以下の方法で紙詰まりを解消してください。

給紙トレイから紙詰まりを取り除くには

1. 給紙トレイから詰まった用紙をゆっくり引き出します。



2. コントロールパネルの [OK] ボタンを押して、現在のジョブを続行します。

排紙トレイから紙詰まりを取り除くには

1. 排紙トレイから詰まった用紙をゆっくり引き出します。



2. コントロールパネルの [OK] ボタンを押して、現在のジョブを続行します。

カートリッジアクセスエリアの紙詰まりを解消するには

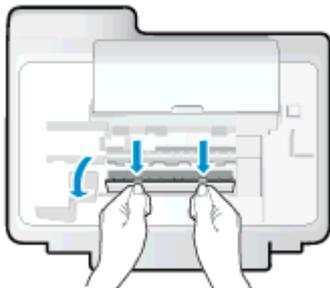
1. 紙詰まりの場所によっては、カートリッジアクセス ドアを開いてインクホルダーを右にスライドする必要があります。



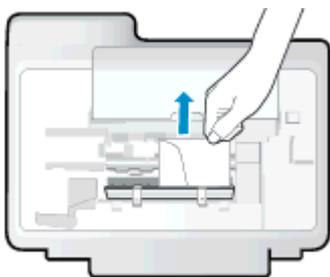
2. コントロールパネルの [OK] ボタンを押して、現在のジョブを続行します。

プリンター内部の紙詰まりを解消するには

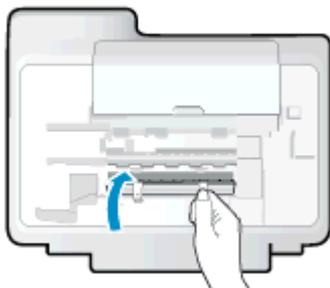
1. プリンターの下部にあるアクセス ドアを開きます。アクセス ドアの両端にあるつまみを押し下ろします。



2. 詰まった用紙を取り除きます。



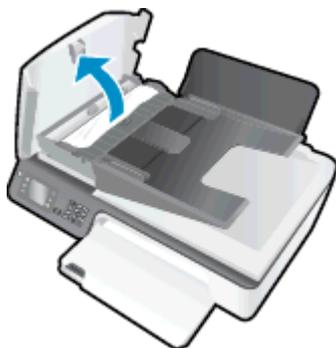
3. アクセス ドアを閉じます。ラッチが両方とも固定されるまで、ドアをプリンターの方にゆっくりと押しつけて閉じます。



4. コントロールパネルの [OK] ボタンを押して、現在のジョブを続行します。

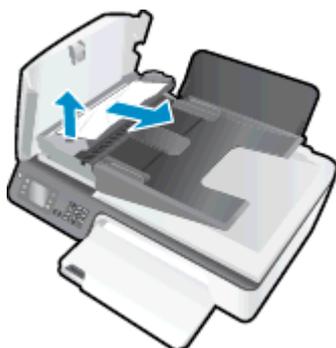
自動ドキュメント フィーダーから詰まった紙を取り除くには

1. 自動ドキュメント フィーダーのカバーを上げます。



2. 自動ドキュメント フィーダーの正面にあるタブを持ち上げます。
3. 詰まっている用紙をローラーからゆっくり引き出します。

⚠ 注意： ローラーから引き出している途中に用紙が破れてしまった場合、ローラーとホイールを点検して、プリンター本体の中に紙切れが残っていないか確認してください。プリンターに紙切れが残っていると、紙詰まりが起こりやすくなります。



4. 自動ドキュメント フィーダー のカバーを閉じ、カチッとハマるまでしっかりと下に押します。
5. コントロール パネルの [OK] ボタンを押して、現在のジョブを続行します。

上記の方法で問題が解決しない場合は、[ここをクリックしてオンライントラブルシューティングを参照してください](#)。

紙詰まりが発生しないようにするには

- 給紙トレイに用紙を入れすぎないようにしてください。
- 排紙トレイから印刷された用紙を頻繁に取り除くようにしてください。
- 用紙を給紙トレイに平らに置き、端が折れたり破れたりしないようにセットしてください。
- 給紙トレイに種類やサイズの異なる用紙を一緒にセットしないでください。給紙トレイにセットした用紙は、すべて同じサイズと種類でなければなりません。
- 用紙がぴったり収まるように、給紙トレイの横方向用紙ガイドを調整してください。横方向用紙ガイドで給紙トレイの用紙を折らないようにしてください。
- 用紙を給紙トレイの奥に入れすぎないようにください。
- プリンターの印刷中は用紙を追加しないでください。プリンターが用紙切れの状態で作動しようとしている場合、用紙切れメッセージが表示されるのを待ってから用紙を追加するようにしてください。

上記の方法で問題が解決しない場合は、[ここをクリックしてオンライントラブルシューティングを参照してください](#)。

インクホルダーのクリア

用紙など、インクホルダーをふさいでいる障害物を取り除きます。

詳細については、[76 ページの紙詰まりの解消](#)を参照してください。

 **注記：** 紙詰まりを取り除くために、工具やその他の道具を使用しないでください。プリンター内部から紙詰まりの用紙を取り除くときには、常に注意してください。

 [詳細についてはここをクリックしてオンラインに接続します。](#)

印刷品質の改善

 **注記：** インクカートリッジを乾燥から守るには、常に [オン] ボタンを使用してプリンターの電源を切り、[オン] ボタンのランプが消えるまで待ちます。

1. HP 製インクカートリッジと HP が推奨する用紙を使用していることを確認します。
2. プリンターソフトウェアで、[メディア] ドロップダウンリストから適切な用紙の種類を選択していること、[品質設定] 領域で適切な印刷品質を選択していることを確認します。

プリンターソフトウェアの [印刷、スキャン、ファクス] をクリックしてから [基本設定] をクリックすると、プリントのプロパティにアクセスできます。

3. 推定インクレベルを確認し、カートリッジのインクが不足していないか調べます。
詳しくは、[62 ページの推定インクレベルの確認](#)を参照してください。インクカートリッジがインク不足の場合は、インクカートリッジを交換してください。
4. インクカートリッジの位置を調整します。

プリンターソフトウェアからカートリッジを調整するには

- a. 給紙トレイに、レターまたは A4 の未使用の白い普通紙をセットします。
- b. オペレーティングシステムに応じて、以下のいずれかを実行してプリンターソフトウェアを開きます。
 - Windows 8：[スタート] で、画面上の何も表示されていない領域を右クリックし、AppBar の [すべての Apps] をクリックして、プリンター名のアイコンをクリックします。
 - Windows 7、Windows Vista、Windows XP：コンピューターのデスクトップで、[スタート] をクリックし、[すべてのプログラム] を選択します。次に、[HP]、[HP Officejet 2620 series]、[HP Officejet 2620 series] の順にクリックします。
- c. プリンターソフトウェアの [印刷、スキャン、ファクス] をクリックしてから [プリンターのメンテナンス] をクリックすると、プリンターツールボックスにアクセスできます。
プリンターツールボックスが表示されます。
- d. [プリンター サービス] タブの [インクカートリッジの調整] をクリックします。
調整シートが印刷されます。

- e. カートリッジ調整シートを、印刷面を下にして、スキャナーのガラス面の右下隅に合わせてセットします。



- f. プリンター ディスプレイの指示に従ってカートリッジを調整します。使用したカートリッジ調整シートは再利用するか破棄してください。

プリンター ディスプレイからカートリッジを調整するには

- a. プリンター ディスプレイの ホーム 画面で [上] ボタンと [下] ボタンを押し、[ツール] を選択して [OK] を押します。

 **注記：** ホーム 画面が表示されない場合は、[ホーム] ボタンを押してください。

- b. プリンター ディスプレイの [ツール] メニューから、[プリンタの調整] を選択します。画面の指示に従います。

5. インク カートリッジのインクが少なくなっていない場合は、診断ページを印刷します。

プリンター ソフトウェアから診断ページを印刷するには

- a. 給紙トレイに、レターまたは A4 の未使用の白い普通紙をセットします。
- b. オペレーティング システムに応じて、以下のいずれかを実行してプリンター ソフトウェアを開きます。
- Windows 8 : [スタート] で、画面上の何も表示されていない領域を右クリックし、App バーの [すべての Apps] をクリックして、プリンター名のアイコンをクリックします。
 - Windows 7、Windows Vista、Windows XP : コンピューターのデスクトップで、[スタート] をクリックし、[すべてのプログラム] を選択します。次に、[HP]、[HP Officejet 2620 series]、[HP Officejet 2620 series] の順にクリックします。
- c. プリンター ソフトウェアの [印刷、スキャン、ファクス] をクリックしてから [プリンタのメンテナンス] をクリックすると、プリンタ ツールボックスにアクセスできます。

- d. [デバイス レポート] タブの [診断情報の印刷] をクリックして、診断ページを印刷します。診断ページで青、マゼンタ、黄色、および黒のカラーボックスを確認します。



1. Model Name: HP OfficeJet 2620 All-in-One Printer series	3. Service ID: 23016	9. Firmware Version: 0
2. Model Number: 2620	4. Printer Zebra (PP): 2	10. Duplexer installed: No
3. Serial Number: 2N2C01D5670000	7. Total Pages Printed: 687	11. Paper Alignment Status: Fail
4. Product Number: D4H21A	5. Firmware Version: CPL1FA130AUR	

12. Ink Supply:	Color	Black
13. Estimated Ink Level:		
14. Ink Zone:	2	2
15. Status:	0	0
16. Cartridge Count:	36	36
17. SDE:	0	0
18. sst:	1	1
19. Supply Part:	HP 61XL	HP 61XL

Additional Assistance
 Printer Toolbox - To perform various tasks such as cleaning or aligning the print cartridges, you can access this toolbox from the Solution Center Software under Printer Settings.

To obtain information about ink cartridge health and perform maintenance services (such as cleaning ink cartridges or printheads), use the Toolbox software (Windows) or the HP Utility (Mac OS) on your computer. For further assistance with print quality, see the electronic User Guide available on your computer after you install the software either from the HP Solution Center Software (Windows) or the Help Viewer (Mac OS). (The user guide is also available online at www.hp.com/support.)

For detailed assistance on Print Quality related issues and how this report can be of assistance, please go to Solution Center Help & Support - Local Online Troubleshooting.

プリンター ディスプレイから診断ページを印刷するには

- a. プリンター ディスプレイの ホーム 画面で [上] ボタンと [下] ボタンを押し、[ツール] を選択して [OK] を押します。

 **注記：** ホーム 画面が表示されない場合は、[ホーム] ボタンを押してください。

- b. プリンター ディスプレイの [ツール] メニューから、[印刷品質レポート] を選択します。画面の指示に従います。

6. 診断ページのカラーおよび黒のボックスに線が入っていたり、ボックス内に印刷されていない箇所がある場合は、以下のいずれかを実行してインクカートリッジをクリーニングします。

プリンター ソフトウェアからカートリッジをクリーニングするには

- a. 給紙トレイに、レターまたは A4 の未使用の白い普通紙をセットします。
- b. オペレーティング システムに応じて、以下のいずれかを実行してプリンター ソフトウェアを開きます。

- Windows 8 : [スタート] で、画面上の何も表示されていない領域を右クリックし、App バーの [すべての Apps] をクリックして、プリンター名のアイコンをクリックします。
 - Windows 7、Windows Vista、Windows XP : コンピューターのデスクトップで、[スタート] をクリックし、[すべてのプログラム] を選択します。次に、[HP]、[HP Officejet 2620 series]、[HP Officejet 2620 series] の順にクリックします。
- c. プリンター ソフトウェアの [印刷、スキャン、ファクス] をクリックしてから [プリンタのメンテナンス] をクリックすると、[プリンタ ツールボックス] にアクセスできます。
- d. [プリンタ サービス] タブの [インク カートリッジのクリーニング] をクリックします。画面の指示に従います。

プリンター ディスプレイからカートリッジをクリーニングするには

- a. プリンター ディスプレイの ホーム 画面で [上] ボタンと [下] ボタンを押し、[ツール] を選択して [OK] を押します。

 **注記：** ホーム 画面が表示されない場合は、[ホーム] ボタンを押してください。

- b. プリンター ディスプレイの [ツール] メニューから、[プリンタヘッドのクリーニング] を選択します。画面の指示に従います。

上記の方法で問題が解決しない場合は、[ここをクリックしてオンライン トラブルシューティングを参照してください](#)。

印刷できない

うまく印刷できない場合は、HP 印刷 & スキャン ドクターをダウンロードしてください。このツールを使用すると、この問題を自動的に解決できます。このユーティリティを取得するには、適切なリンクをクリックします。

[HP 印刷 & スキャン ドクターのダウンロード ページを表示する](#)

 **注記：** HP 印刷 & スキャン ドクターがお客様の言語で利用できない場合があります。

印刷の問題を解決するには

プリンターの電源がオンであり、給紙トレイに用紙があることを確認します。それでも印刷できない場合は、次の手順に従ってください。

1. プリンター ディスプレイのエラー メッセージを確認し、画面上の指示に従ってエラーを解決します。
2. USB ケーブルをいったん外し、再度接続します。
3. プリンターが一時停止していないこと、またはオフラインでないことを確認します。

プリンターが一時停止していないこと、またはオフラインでないことを確認するには

- a. オペレーティング システムに応じて、以下のいずれかを実行します。
 - **Windows 8**：画面の右上隅をポイントまたはタップして Charms バーを開いて、**[設定]** アイコンをクリックします。次に、**[コントロール パネル]** をクリックまたはタップし、**[デバイスとプリンターの表示]** をクリックまたはタップします。
 - **Windows 7**：Windows の **[スタート]** メニューから、**[デバイスとプリンター]** をクリックします。
 - **Windows Vista**：Windows の **[スタート]** メニューから、**[コントロール パネル]**、**[プリンタ]** の順にクリックします。
 - **Windows XP**：Windows の **[スタート]** メニューから、**[コントロール パネル]**、**[プリンタと FAX]** の順にクリックします。
 - b. プリンターのアイコンをダブルクリックするか、プリンターのアイコンを右クリックして **[印刷内容の表示]** を選択し、印刷キューを開きます。
 - c. **[プリンタ]** メニューで **[一時停止]** または **[プリンタをオフラインで使用する]** の横にチェックマークがないことを確認します。
 - d. 何らかの変更を行なった場合は、もう一度印刷を実行します。
4. プリンターがデフォルト プリンターに設定されていることを確認します。

プリンタがデフォルト プリンタに設定されていることを確認するには

- a. オペレーティング システムに応じて、以下のいずれかを実行します。

- **Windows 8** : 画面の右上隅をポイントまたはタップして Charms バーを開いて、[設定] アイコンをクリックします。次に、[コントロールパネル] をクリックまたはタップし、[デバイスとプリンターの表示] をクリックまたはタップします。
 - **Windows 7** : Windows の [スタート] メニューから、[デバイスとプリンター] をクリックします。
 - **Windows Vista** : Windows の [スタート] メニューから、[コントロールパネル]、[プリンター] の順にクリックします。
 - **Windows XP** : Windows の [スタート] メニューから、[コントロールパネル]、[プリンターと FAX] の順にクリックします。
- b. 正しいプリンターがデフォルト プリンターとして設定されていることを確認します。
デフォルト プリンターは横の黒または緑の丸内にチェックマークが付いています。
- c. 間違ったプリンターがデフォルト プリンターとして設定されている場合は、正しいプリンターを右クリックし、[通常使うプリンタに設定] を選択します。
- d. プリンターを再度使ってみます。
5. 印刷スプーラーを再起動してください。

印刷スプーラーを再起動するには

- a. オペレーティング システムに応じて、以下のいずれかを実行します。

Windows 8

- i. 画面の右上隅をポイントまたはタップして Charms バーを開いて、[設定] アイコンをクリックします。
- ii. [コントロールパネル] をクリックまたはタップして、[システムとセキュリティ] をクリックまたはタップします。
- iii. [管理ツール] をクリックまたはタップして、[サービス] をダブルクリックまたはダブルタップします。
- iv. [印刷スプーラ] を右クリックまたはタッチし続け、[プロパティ] をクリックします。
- v. [スタートアップの種類] の横の [全般] タブで、[自動] が選択されていることを確認します。
- vi. サービスがまだ起動していなければ、[サービスの状態] の下で、[開始] をクリックまたはタップして、[OK] をクリックまたはタップします。

Windows 7

- i. Windows の [スタート] メニューから、[コントロールパネル]、[システムとセキュリティ]、[管理ツール] の順にクリックします。
- ii. [サービス] をダブルクリックします。
- iii. [印刷スプーラ] を右クリックし、[プロパティ] をクリックします。

- iv. [スタートアップの種類]の横の[全般]タブで、[自動]が選択されていることを確認します。
- v. サービスがまだ起動していなければ、[サービスの状態]の下で、[開始]をクリックし、[OK]をクリックします。

Windows Vista

- i. Windows の [スタート] メニューから、[コントロール パネル]、[システムとメンテナンス]、[管理ツール] の順にクリックします。
- ii. [サービス] をダブルクリックします。
- iii. [印刷スプーラサービス] を右クリックし、[プロパティ] をクリックします。
- iv. [スタートアップの種類]の横の[全般]タブで、[自動]が選択されていることを確認します。
- v. サービスがまだ起動していなければ、[サービスの状態]の下で、[開始]をクリックし、[OK]をクリックします。

Windows XP

- i. Windows の [スタート] メニューから、[マイ コンピュータ] を右クリックします。
 - ii. [管理] をクリックし、次に [サービスとアプリケーション] をクリックします。
 - iii. [サービス] をダブルクリックし、次に [印刷スプーラ] を選択します。
 - iv. [印刷スプーラ] を右クリックし、[再起動] をクリックしてサービスを再起動します。
- b. 正しいプリンターがデフォルト プリンターとして設定されていることを確認します。
デフォルト プリンターは横の黒または緑の丸内にチェックマークが付いています。
 - c. 間違ったプリンターがデフォルト プリンターとして設定されている場合は、正しいプリンターを右クリックし、[通常使うプリンタに設定] を選択します。
 - d. プリンターを再度使ってみます。
6. コンピューターを再起動します。
 7. 印刷キューをクリアします。

印刷キューをクリアするには

- a. オペレーティング システムに応じて、以下のいずれかを実行します。
 - **Windows 8**：画面の右上隅をポイントまたはタップして Charms バーを開いて、[設定] アイコンをクリックします。次に、[コントロール パネル] をクリックまたはタップし、[デバイスとプリンターの表示] をクリックまたはタップします。
 - **Windows 7**：Windows の [スタート] メニューから、[デバイスとプリンター] をクリックします。

- **Windows Vista** : Windows の[スタート]メニューから、[コントロールパネル]、[プリンタ]の順にクリックします。
 - **Windows XP** : Windows の [スタート]メニューから、[コントロールパネル]、[プリンタとFAX]の順にクリックします。
- b. 印刷キューを開くためにプリンターのアイコンをダブルクリックします。
 - c. [プリンタ]メニューで、[すべてのドキュメントの取り消し]または[ドキュメントの削除]をクリックし、[はい]をクリックして確定します。
 - d. それでもまだキューに文書が残っている場合は、コンピューターを再起動し、再起動後もう一度印刷を実行します。
 - e. 印刷キューを再度チェックしてクリアされていることを確認し、もう一度印刷を実行します。

上記の方法で問題が解決しない場合は、[ここをクリックしてオンライントラブルシューティングを参照してください](#)。

コピーとスキャンの問題の解決

HP では、一般的な「スキャンできない」問題の解決に役立つ HP 印刷 & スキャン ドクター (Windows のみ) を用意しています。

 **注記：** HP 印刷 & スキャン ドクターがお客様の言語で利用できない場合があります。

[HP 印刷 & スキャン ドクターのダウンロード ページを表示する](#)

スキャン問題を解決する方法について説明します。
[詳細についてはここをクリックしてオンラインに接続します。](#)

コピー問題を解決する方法について説明します。
[詳細についてはここをクリックしてオンラインに接続します。](#)

ファクスの問題を解決する

ファクスに問題が発生したときには、ファクス テスト レポートを印刷してプリンターのステータスを確認できます。ファクスを使用するためにプリンターが正しく設定されていないと、テストに失敗します。ファクスを使用するためにプリンターを設定したら、このテストを実行してください。詳しくは、[143 ページのファクス設定のテスト](#)を参照してください。

ファクスの問題を解決する方法について説明します。
[詳細についてはここをクリックしてオンラインに接続します。](#)

詳細については、HP オンライン サポートの Web サイトを参照してください (www.hp.com/support)。

HP サポート

- [プリンターの登録](#)
- [サポート プロセス](#)
- [HP の電話によるサポート](#)
- [追加の保証オプション](#)

プリンターの登録

登録に数分かけるだけで、迅速なサービス、効果的なサポート、製品サポートの通知を得ることができます。ソフトウェアのインストール中にプリンターを登録しなかった場合、<http://www.register.hp.com> で登録できます。

サポート プロセス

問題がある場合は、以下の手順にしたがってください。

1. プリンター付属のマニュアルを確認します。
2. www.hp.com/support の HP オンライン サポート Web サイトにアクセスします。

HP オンライン サポートは、HP のお客様ならどなたでもご利用いただけます。最新の製品情報や専門的なヘルプをすばやく得ることができるとともに、以下の特徴も含まれます。

- 認定オンライン サポート スペシャリストへの迅速なアクセス
 - HP プリンターのソフトウェアおよびドライバーのアップデート
 - 一般的な問題に対する貴重なトラブルシューティング情報
 - プリンターを登録すると利用できる予防的なプリンターの更新、サポート警告、および HP ニュース
3. HP サポートにお電話ください。

ご利用いただけるサポートオプションは、プリンター、国/地域、および言語によって異なります。

HP の電話によるサポート

電話サポートのオプションとご利用いただける内容は、プリンター、国/地域、および言語によって異なります。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- [電話サポート期間](#)
- [電話でのご連絡](#)
- [サポートの電話番号](#)
- [電話無料サポート期間後](#)

電話サポート期間

北米、アジア太平洋、および南米（メキシコを含む）で1年間の電話サポートが受けられます。ヨーロッパ、中東、アフリカ各国での電話サポートの期間については、www.hp.com/support を参照してください。規定の通話料金がかかります。

電話でのご連絡

コンピューターとプリンターの前から HP サポート宛にご連絡ください。また、以下の情報を事前にご用意ください。

- 製品名 (HP Officejet 2620 のように、(プリンターに記載されています))
- 製品番号 (カートリッジアクセス ドア内側に表示)



- シリアル番号 (プリンターの背面または底部に記載)
- 問題が起こった際に表示されたメッセージ
- 次の質問に対する答え
 - この問題が以前にも起こったことがありますか？
 - 問題をもう1度再現できますか？
 - この問題が起こった頃に、新しいハードウェア、またはソフトウェアをコンピューターに追加しましたか？
 - この状況になる前に他に何か起こりましたか (雷、プリンターを移動したなど)?

サポートの電話番号

最新の HP サポート電話番号一覧およびご利用料金については、www.hp.com/support を参照してください。

電話無料サポート期間後

電話サポート期間終了後は、追加費用を支払うことで HP のサポートをご利用いただけます。次の HP オンラインサポート Web サイトもご利用ください。www.hp.com/support。サポートオプションの詳細については、HP 取扱店またはお住まいの国/地域のサポート電話番号にご連絡ください。

追加の保証オプション

追加料金で HP Officejet 2620 series のサービス プランを拡張できます。www.hp.com/support にアクセスし、国/地域および言語を選択し、サービスおよび保証の領域でサービス プラン拡張に関する情報を参照してください。

トレイの準備

排紙トレイを開く

- ▲ 印刷する場合は、排紙トレイを開きます。



カートリッジアクセス ドアを閉じる

- ▲ 印刷する場合は、カートリッジ ドアを閉じます。



 [詳細についてはここをクリックしてオンラインに接続します。](#)

プリンターの障害

プリンターの障害を解決する。

- ▲ プリンターの電源を切ってからもう一度入れます。問題を解決できなかった場合、HP に連絡してください。

 [詳細は HP サポートへお問い合わせください。](#)

インク カートリッジの問題

まず、インク カートリッジを外して、再装着してみます。問題が解決しない場合は、カートリッジの接点の汚れを拭き取ります。それでも問題が解決しない場合は、インク カートリッジを交換してみてください。詳しくは、[65 ページのインク カートリッジの交換](#)を参照してください。

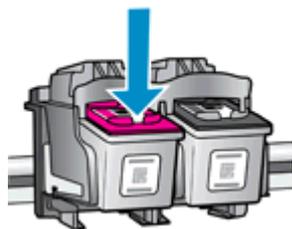
インク カートリッジの接点の汚れを拭き取る

△ 注意： クリーニング手順は数分で終わります。インク カートリッジをできるだけはやくプリンターに再度取り付けてください。インク カートリッジをプリンターから外して30分以上放置しないでください。プリントヘッドまたはインク カートリッジが損傷する恐れがあります。

1. 電源が入っていることを確認します。
2. カートリッジアクセス ドアを開いて、インクホルダーが中央に移動するまで待ちます。

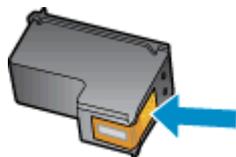


3. コントロールパネル上で点滅するカートリッジランプで示されたインク カートリッジを取り外します。



4. インク カートリッジの横を持って底面を上向きにし、インク カートリッジの電気接触部を探します。

電気接触部は、インク カートリッジ上にある金色の小さい点です。

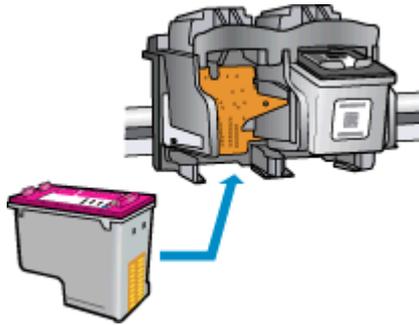


5. 接触部を乾いた綿棒や糸くずの出ない布で拭きます。

△ 注意： 接触部のみを慎重に拭き、インクやその他の破片がインク カートリッジのほかの場所につかないようにします。

6. プリンター内部にあるカートリッジの接触部を探します。

プリンターの接触部は、複数の金色の突起で、インクカートリッジの接触部とぴったり合う位置にあります。



7. 乾いた綿棒や糸くずの出ない布で接触部を拭きます。
8. インクカートリッジをもう一度取り付けます。
9. カートリッジアクセスドアを閉め、エラーメッセージが表示されなくなったかどうか確認します。
10. まだエラーメッセージが表示される場合は、プリンターの電源をオフにして、もう一度オンにします。

 **注記：** 1本のカートリッジだけが問題の原因となっている場合は、そのカートリッジを取り外し、シングルカートリッジモードを使用して HP Officejet 2620 series を1本のカートリッジだけで動作させることができます。

 [詳細についてはここをクリックしてオンラインに接続します。](#)

旧式のカートリッジ

このカートリッジの新しいバージョンを使用する必要があります。ほとんどの場合、カートリッジのパッケージの外側を見て保証期限を確認すれば、カートリッジが新しいバージョンであるかどうかを識別することができます。



日付の右に ‘v1’ と複数スペースがある場合、カートリッジはアップデートされた新しいバージョンです。旧式のカートリッジの場合は、サポートまたは交換のため HP サポートへお問い合わせください。

 [詳細についてはここをクリックしてオンラインに接続します。](#)

A 技術情報

このセクションでは、HP Officejet 2620 series の技術仕様および国際的な規制について説明します。

詳細な仕様については、HP Officejet 2620 series 付属の文書を参照してください。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- [Hewlett-Packard 社の告知](#)
- [仕様](#)
- [環境保全のためのプロダクト スチュワード プログラム](#)
- [規制に関する告知](#)

Hewlett-Packard 社の告知

ここに記載された情報は予告なく変更される場合があります。

すべての権利は保護されています。著作権法で許されている場合を除き、Hewlett-Packard 社の書面による事前の許可なく、この文書を複製、変更、あるいは翻訳することは禁じられています。HP 製品とサービスに対する保証は、当該製品とサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。ここに記載されたいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。この文書の技術的または編集上の誤りや遺漏に対して、HP は一切の責任を負いません。

© 2013 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

Microsoft®、Windows®、Windows® XP、Windows Vista®、Windows® 7、および Windows® 8 は、米国における Microsoft Corporation の登録商標です。

仕様

ここでは、HP Officejet 2620 series の技術仕様を記載します。製品仕様の詳細については、www.hp.com/support の製品データシートを参照してください。

- [システム要件](#)
- [環境仕様](#)
- [給紙トレイの容量](#)
- [排紙トレイ容量](#)
- [用紙のサイズ](#)
- [用紙の重量](#)
- [印刷の仕様](#)
- [コピーの仕様](#)
- [スキャンの仕様](#)
- [ファクスの仕様](#)
- [印刷の解像度](#)
- [電気の安全性](#)
- [カートリッジの印刷可能枚数](#)
- [騒音に関する情報](#)

システム要件

ソフトウェアおよびシステムの要件は、Readme ファイルに収録されています。

将来的なオペレーティング システムのリリースおよびサポートについての情報は、HP のオンライン サポート Web www.hp.com/support を参照してください。

環境仕様

- 推奨される動作時の温度範囲： 15 °C ~ 32 °C (59 °F ~ 90 °F)
- 許容される動作時の温度範囲： 5 °C ~ 40 °C (41 °F ~ 104 °F)
- 湿度： 15% ~ 80% RH (結露しないこと)、 28 °C (最大露点温度)
- 非動作時 (保管時) の温度範囲： -40 °C ~ 60 °C (-40 °F ~ 140 °F)
- 強い電磁気が発生している場所では、HP Officejet 2620 series の印刷結果に多少の歪みが出るおそれがあります。
- 強い電磁気を原因として混入するノイズを最小化するために、3 m 以下の USB ケーブルを使用することをお勧めします。

給紙トレイの容量

普通紙の枚数 (80 g/m²) : 最高 50 枚

封筒 : 最高 5 枚

インデックスカード : 最高 20 枚

フォト用紙の枚数 : 最高 20 枚

排紙トレイ容量

普通紙の枚数 (80 g/m²) : 最高 30 枚

封筒 : 最高 5 枚

インデックスカード : 最高 10 枚

フォト用紙の枚数 : 最高 10 枚

用紙のサイズ

すべての対応用紙サイズについては、プリンター ソフトウェアで確認してください。

用紙の重量

普通紙 : 64 ~ 90 g/m² (16 ~ 24 lb)

封筒 : 75 ~ 90 g/m² (20 ~ 24 lb)

カード : 最大 200 g/m² (インデックスの場合、最大 110-lb)

フォト用紙 : 最大 280 g/m²

印刷の仕様

- 印刷速度はドキュメントの複雑さによって異なります
- 方式 : オンデマンド型サーマル インクジェット
- 言語 : PCL3 GUI

コピーの仕様

- デジタル イメージ処理
- コピー速度はドキュメントの複雑さ、およびモデルによって異なる

スキャンの仕様

- 解像度 : 最高 1200 × 1200 dpi

dpi 解像度についての詳細は、スキャナー ソフトウェアを参照してください。

- カラー：24 ビット カラー、8 ビット グレースケール (256 階調の灰色)
- ガラスからの最大スキャン サイズ：21.6 x 29.7 cm

ファクスの仕様

- ファクス送受信はモノクロまたはカラー。
- 最大 99 の短縮ダイヤルの設定。
- 最大 99 ページ メモリ (標準解像度で ITU-T Test Image #1 に基づく場合)。より複雑なページあるいは高解像度のファクスの場合は受信に時間がかかり、消費メモリも多くなります。
- 手動ファクス送受信。
- 最大 5 回のビジー自動リダイヤル (モデルによって異なります)
- 自動無応答リダイヤル 1 回または 2 回 (モデルによって異なります)。
- 確認レポートおよびアクティビティ レポート
- CCITT/ITU Group 3 ファクス (エラー訂正モード対応)
- 伝送速度 33.6 Kbps。
- 33.6 Kbps の場合の伝送速度は 4 秒/枚 (ITU-T Test Image #1 を標準解像度で受信した場合)。より複雑なページあるいは高解像度のファクスの場合は受信に時間がかかり、消費メモリも多くなります。
- 呼び出しの自動検出とそれに伴うファクス/留守番電話の自動切り替え

	高画質 (dpi)	標準 (dpi)
黒	208×196	208×98
カラー	208×200	208×200

印刷の解像度

ドラフトモード

- カラー入力/モノクロ レンダリング：300x300dpi
- 出力 (モノクロ/カラー)：自動

標準モード

- カラー入力/モノクロ レンダリング：600x300dpi
- 出力 (モノクロ/カラー)：自動

普通紙-高画質モード

- カラー入力/モノクロ レンダリング : 600x600dpi
- 出力 (モノクロ/カラー) : 自動

写真-高画質モード

- カラー入力/モノクロ レンダリング : 600x600dpi
- 出力 (モノクロ/カラー) : 自動

最大 dpi モード

- カラー入力/モノクロ レンダリング : 1200x1200dpi
- 出力 : 自動 (モノクロ)、4800x1200 に最適化された dpi (カラー)

電気の安全性

 **注記:** HP 提供の電源コードと電源アダプター以外は使用しないでください。

カートリッジの印刷可能枚数

カートリッジの印刷可能枚数の詳細については、www.hp.com/go/learnaboutsupplies をご覧ください。

騒音に関する情報

インターネットにアクセス可能な場合は、騒音に関する情報を次の HP Web サイトから入手することができます。次のサイト : www.hp.com/support

環境保全のためのプロダクト スチュワード プログラム

Hewlett-Packard では、優れた製品を環境に対して適切な方法で提供することに積極的に取り組んでいます。この製品では、再利用を考慮した設計を取り入れています。高度な機能と信頼性を確保する一方、素材の種類は最小限にとどめられています。素材が異なる部分は、簡単に分解できるように作られています。金具などの接合部品は、作業性を考慮した分かりやすい場所にあるので、一般的な工具を使って簡単に取り外すことができます。重要な部品も手の届きやすい場所にあり、取り外しや修理が簡単に行えます。

詳細については、以下の「HP の環境への取り組み」に関する Web サイトをご覧ください。

www.hp.com/hpinfo/globalcitizenship/environment/index.html

- [エコ ヒント](#)
- [用紙の使用](#)
- [プラスチック](#)
- [化学物質安全性データシート](#)
- [リサイクルプログラム](#)
- [HP インクジェット サプライ品リサイクル プログラム](#)
- [電力消費](#)
- [スリープ モード](#)
- [お客様による廃棄機器の処理](#)
- [化学物質](#)
- [毒性危険有害物質表 \(中国\)](#)
- [有害物質規制 \(ウクライナ\)](#)
- [有害物質規制 \(インド\)](#)
- [オランダにおけるバッテリーの廃棄](#)
- [台湾におけるバッテリーの廃棄](#)
- [カリフォルニア州過塩素酸塩使用電池に関する通知](#)

エコ ヒント

HP は、お客様の環境に対する負荷の削減に取り組んでいます。HP の環境への取り組みの詳細については、HP の Web サイト「日本 HP 環境保護」をご覧ください。

www.hp.com/hpinfo/globalcitizenship/environment/

用紙の使用

本製品は DIN 19309 と EN 12281:2002 に従ったリサイクル用紙の使用に適しています。

プラスチック

25 グラム以上のプラスチックのパーツには、国際規格に基づく材料識別マークが付いているため、プリンターを処分する際にプラスチックを正しく識別することができます。

化学物質安全性データシート

化学物質安全性データシート (MSDS) は、次の HP Web サイトから入手することができます。

www.hp.com/go/msds

リサイクルプログラム

HP は世界中の国/地域で、大規模なエレクトロニクス リサイクルセンターと提携して、さまざまな製品回収およびリサイクル プログラムを次々に実施しております。また、弊社の代表的製品の一部を再販することで、資源を節約しています。HP 製品のリサイクルについての詳細は、下記サイトをご参照ください。

www.hp.com/hpinfo/globalcitizenship/environment/recycle/

HP インクジェット サプライ品リサイクル プログラム

HP では、環境の保護に積極的に取り組んでいます。HP のインクジェット消耗品リサイクル プログラムは多くの国/地域で利用可能であり、これを使用すると使用済みのプリントカートリッジおよびインク カートリッジを無料でリサイクルすることができます。詳細については、次の Web サイトを参照してください。

www.hp.com/hpinfo/globalcitizenship/environment/recycle/

電力消費

ENERGY STAR® ロゴがマーキングされた Hewlett-Packard 印刷/イメージング機器は、U.S. Environmental Protection Agency (米国環境保護庁) のイメージング機器のエネルギー スター仕様に従って認定されています。ENERGY STAR 認定のイメージング製品には、以下のマークが付いています。



追加のエネルギー スター認定イメージング製品モデルに関する情報については、以下をご覧ください。www.hp.com/go/energystar

スリープモード

スリープモードのあいだ、電力利用が減少します。

プリンターの初期セットアップ後、非動作状態が 5 分続いた後にプリンターがスリープモードに入ります。

スリープモードに移行するまでの時間を変更するには

1. プリンター ディスプレイの ホーム 画面で [上] ボタンと [下] ボタンを押し、[基本設定] を選択して [OK] を押します。
2. [スリープ] を選択し、使用するオプションを選択します。

お客様による廃棄機器の処理



この記号は、お客様の製品を他の家庭ごみと一緒に廃棄してはならないことを示すものです。家庭ごみと一緒に廃棄せず、お客様の責任で電気・電子廃棄物のリサイクル用に指定された収集場所に持ち込むことで、人の健康を保護し、生活環境を保全するようにしてください。詳細については、一般廃棄物収集運搬業者にご連絡いただくか、<http://www.hp.com/recycle> をご覧ください。

化学物質

HP では、REACH (*Regulation EC No 1907/2006 of the European Parliament and the Council*) などの法的要件に準拠するため、弊社製品に含まれる化学物質に関する情報を、必要に応じてお客様に提供することに努めています。この製品の化学物質に関するレポートは、次の Web サイトに掲載されています。www.hp.com/go/reach。

毒性危険有害物質表 (中国)

有毒有害物質表						
根据中国《电子信息产品污染控制管理办法》						
零件描述	有毒有害物質和元素					
	铅	汞	镉	六价铬	多溴联苯	多溴联苯醚
外壳和托盘*	0	0	0	0	0	0
电线*	0	0	0	0	0	0
印刷电路板*	X	0	0	0	0	0
打印系统*	X	0	0	0	0	0
显示屏*	X	0	0	0	0	0
喷墨打印机墨盒*	0	0	0	0	0	0
驱动光盘*	X	0	0	0	0	0
扫描仪*	X	X	0	0	0	0
网络配件*	X	0	0	0	0	0
电池板*	X	0	0	0	0	0
自动双面打印系统*	0	0	0	0	0	0
外部电源*	X	0	0	0	0	0

0: 指此部件的所有均一材质中包含的这种有毒有害物質, 含量低于SJ/T11363-2006 的限制
X: 指此部件使用的均一材质中至少有一种包含的这种有毒有害物質, 含量高于SJ/T11363-2006 的限制
注: 环保使用期限的参考标识取决于产品正常工作的温度和湿度等条件
*以上只适用于使用这些部件的产品

有害物質規制 (ウクライナ)

Технічний регламент щодо обмеження використання небезпечних речовин (Україна)

Обладнання відповідає вимогам Технічного регламенту щодо обмеження використання деяких небезпечних речовин в електричному та електронному обладнанні, затвердженого постановою Кабінету Міністрів України від 3 грудня 2008 № 1057

有害物質規制 (インド)

Restriction of hazardous substances (India)

This product complies with the "India E-waste (Management and Handling) Rule 2011" and prohibits use of lead, mercury, hexavalent chromium, polybrominated biphenyls or polybrominated diphenyl ethers in concentrations exceeding 0.1 weight % and 0.01 weight % for cadmium, except for the exemptions set in Schedule 2 of the Rule.

オランダにおけるバッテリーの廃棄



Dit HP Product bevat een lithium-manganees-dioxide batterij. Deze bevindt zich op de hoofdprintplaat. Wanneer deze batterij leeg is, moet deze volgens de geldende regels worden afgevoerd.

台湾におけるバッテリーの廃棄



廢電池請回收

Please recycle waste batteries.

カリフォルニア州過塩素酸塩使用電池に関する通知

California Perchlorate Material Notice

Perchlorate material - special handling may apply. See:
<http://www.dtsc.ca.gov/hazardouswaste/perchlorate/>

This product's real-time clock battery or coin cell battery may contain perchlorate and may require special handling when recycled or disposed of in California.

規制に関する告知

HP Officejet 2620 series は、お住まいの国/地域の規制当局からの製品要件に適合しています。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- [規制モデルの ID 番号](#)
- [FCC 準拠声明](#)
- [韓国のユーザーに対する告知](#)
- [日本のユーザーに対する VCCI \(クラス B\) 基準に関する告知](#)
- [日本のユーザーに対する告知 \(電源コードについて\)](#)
- [ドイツの騒音放出に関する告知](#)
- [EU の規制に関する告知](#)
- [ドイツのユーザーに対する視覚的表示画面に関する告知](#)
- [適合宣言](#)
- [米国電話網ユーザーへの告知 : FCC の要件](#)
- [カナダ電話網ユーザーへの告知](#)
- [EC 地域のユーザーに対する告知](#)
- [ドイツ電話網ユーザーへの告知](#)
- [オーストラリアでの有線ファクスの接続について](#)

規制モデルの ID 番号

規制識別の目的で、製品には規制モデル番号が割り当てられています。本製品の規制モデル番号は、SNPRH-1203 です。この規制番号を、製品名 (HP Officejet 2620 All-in-One など) や製品番号 (D4H21A, D4H21B など) と混同しないようご注意ください。

FCC 準拠声明

FCC statement

The United States Federal Communications Commission (in 47 CFR 15.105) has specified that the following notice be brought to the attention of users of this product.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and the receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

For further information, contact:

Manager of Corporate Product Regulations
Hewlett-Packard Company
3000 Hanover Street
Palo Alto, Ca 94304
(650) 857-1501

Modifications (part 15.21)

The FCC requires the user to be notified that any changes or modifications made to this device that are not expressly approved by HP may void the user's authority to operate the equipment.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

韓国のユーザーに対する告知

B 급 기기 (가정용 방송통신기기)	이 기기는 가정용(B급)으로 전자파적합등록을 한 기기로서 주로 가정에서 사용하는 것을 목적으로 하며, 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.
------------------------	--

日本のユーザーに対する VCCI (クラス B) 基準に関する告知

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

日本のユーザーに対する告知 (電源コードについて)

製品には、同梱された電源コードをお使い下さい。
同梱された電源コードは、他の製品では使用出来ません。

ドイツの騒音放出に関する告知

Geräuschemission

LpA < 70 dB am Arbeitsplatz im Normalbetrieb nach DIN 45635 T. 19

EU の規制に関する告知

CE マークが付いた製品は、以下の EU 指令に適合します：

- Low Voltage Directive 2006/95/EC
- EMC Directive 2004/108/EC
- Ecodesign Directive 2009/125/EC (該当する場合)

本製品の CE コンプライアンスは、HP が提供する適切な CE マークの付いた AC アダプターを使用して電源を供給する場合にのみ有効です。

本製品に有線またはワイヤレス通信機能がある場合は、以下の EU 指令の基本要件にも適合します：

- R&TTE Directive 1999/5/EC

これらの指令に準拠することで、HP が本製品または製品ファミリーに対して発行しており、製品ドキュメント内または以下の Web サイトで入手可能な (英語のみ) EU Declaration of Conformity のリストに記載された適用可能な統一ヨーロッパ規格 (European Norms) にも適合しています：

www.hp.com/go/certificates (検索フィールドに製品番号を入力してください)。

コンプライアンスは、製品に付けられた以下の適合マークのいずれかによって示されます：



非通信製品の場合および EU 統一通信製品の場合 (10mW 未満の電源クラス内の Bluetooth® など)



EU 非統一通信製品の場合 (該当する場合、4 桁の通知機関番号が CE の横に表示されます)。

製品に付属の規制ラベルを参照してください。

本製品の通信機能は、以下の EU および EFTA 加盟国で使用することができます：オーストリア、ベルギー、ブルガリア、キプロス、チェコ共和国、デンマーク、エストニア、フィンランド、フランス、ドイツ、ギリシャ、ハンガリー、アイスランド、アイルランド、イタリア、ラトビア、リヒテンシュタイン、リトアニア、ルクセンブルグ、マルタ、オランダ、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、ルーマニア、スロバキア共和国、スロヴェニア、スペイン、スウェーデン、スイス、英国。

電話コネクタ (一部の製品でのみ使用可能) は、アナログ電話回線への接続用です。

製品をワイヤレス LAN デバイスと使用する場合

- 国によっては、屋内使用限定、使用可能なチャネル数の制限など、ワイヤレス LAN ネットワークの運用に関する特定の義務または特別の要件が定められています。ワイヤレス ネットワークの国設定が正しいことを確認してください。

フランス

- 本製品の 2.4 GHz ワイヤレス LAN 操作には、特定の制限が適用されます: 屋内では、本機は、2400 ~ 2483.5 MHz の周波数帯全域 (チャネル 1 ~ 13) で使用できます。屋外での使用については、2400 ~ 2454 MHz の周波数帯 (チャネル 1 ~ 7) だけが使用できます。最新の要件については、www.arcep.fr を参照してください。

規制関連の連絡先 :

Hewlett-Packard GmbH, Dept./MS: HQ-TRE, Herrenberger Strasse 140, 71034 Boeblingen, GERMANY

ドイツのユーザーに対する視覚的表示画面に関する告知

GS-Erklärung (Deutschland)

Das Gerät ist nicht für die Benutzung im unmittelbaren Gesichtsfeld am Bildschirmarbeitsplatz vorgesehen. Um störende Reflexionen am Bildschirmarbeitsplatz zu vermeiden, darf dieses Produkt nicht im unmittelbaren Gesichtsfeld platziert werden.



DECLARATION OF CONFORMITY

according to ISO/IEC 17050-1 and EN 17050-1

Supplier's Name: Hewlett-Packard Company **DoC #:** SNPRH-1203-Rev A
Supplier's Address: 20, Jia Feng Road Waigaoqiao Free Trade Zone Pudong, Shanghai, PRC 200131
declares, that the product
Product Name and Model: 2) HP Officejet 2620 All-in-One
 HP Deskjet Ink Advantage 2645 All-in-One
Regulatory Model Number: 1) SNPRH-1203
Power Adapter: 0957-2286
 0957-2290(China and India only)
Product Options: All

conforms to the following Product Specifications and Regulations:

EMC:

CISPR 22: Ed5 2005+A1:2005+A2:2006 Class B
 EN 55022: 2006 +A1:2007 Class B
 EN 55024:1998 + A1:2001 + A2:2003
 EN 61000-3-2:2006 +A1:2009 +A2:2009
 EN 61000-3-3:2008
 FCC CFR 47 Part 15 Class B
 ICES-003, Issue 4 Class B Class B

Safety:

EN 60950-1:2006 +A11:2009 +A1:2010 +A12:2011
 IEC 60950-1:2005 +A1:2009

Telecom:

FCC Rules and Regulations 47 CFR Part 68
 TIA-968-B Telecommunications – Telephone Terminal Equipment Technical Requirements for Connection to the Telephone Network (Sep 2009)
 ES 203 021-1, -2, -3
 CS-03, Part 1, Issue 9, Amendment 4, December 2010

Energy Use:

Regulation (EC) No. 1275/2008
 ENERGY STAR® Qualified Imaging Equipment Operational Mode (OM) Test Procedure
 Regulation (EC) No. 278/2009
 Test Method for Calculating the Energy Efficiency of Single-Voltage External AC/DC and AC/AC Power Supplies

RoHS:

EN 50581:2012

The product herewith complies with the requirements of the Low Voltage Directive 2006/95/EC, the EMC Directive 2004/108/EC, the R&TTE Directive 1999/5/EC, the Ecodesign Directive 2009/125/EC, the RoHS Directive 2011/65/EU and carries the CE marking accordingly.

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

(1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Additional Information:

- 1) This product is assigned a Regulatory Model Number which stays with the regulatory aspects of the design. The Regulatory Model Number is the main product identifier in the regulatory documentation and test reports, this number should not be confused with the marketing name or the product numbers.

15 May, 2013

Shen Hongbo

ICS Product Hardware Quality Engineering, Manager

Local contact for regulatory topics only:

EU: Hewlett-Packard GmbH, HQ-TRE, Herrenberger Strasse 140, 71034 Boeblingen, Germany
 U.S.: Hewlett-Packard, 3000 Hanover St., Palo Alto, CA 94304, U.S.A. 650-857-1501

www.hp.eu/certificates

米国電話網ユーザーへの告知：FCCの要件

Notice to users of the U.S Telephone network: FCC requirements

This equipment complies with Part 68 of the FCC rules and the requirements adopted by the ACTA. On the rear (or bottom) of this equipment is a label that contains, among other information, a product identifier in the format US:AAAEQ##TXXXX. If requested, this number must be provided to the telephone company.

Applicable connector jack Universal Service Order Codes ("USOC") for the Equipment is: RJ-11C.

A plug and jack used to connect this equipment to the premises wiring and telephone network must comply with the applicable FCC Part 68 rules and requirements adopted by the ACTA. A compliant telephone cord and modular plug is provided with this product. It is designed to be connected to a compatible modular jack that is also compliant. See installation instructions for details.

The REN is used to determine the number of devices that may be connected to a telephone line. Excessive RENs on a telephone line may result in the devices not ringing in response to an incoming call. In most but not all areas, the sum of RENs should not exceed five (5.0). To be certain of the number of devices that may be connected to a line, as determined by the total RENs, contact the local telephone company. For products approved after July 23, 2001, the REN for this product is part of the product identifier that has the format US:AAAEQ##TXXXX. The digits represented by ## are the REN without a decimal point (e.g., 00 is a REN of 0.0).

If this equipment causes harm to the telephone network, the telephone company will notify you in advance that temporary discontinuance of service may be required. But if advance notice isn't practical, the telephone company will notify the customer as soon as possible. Also, you will be advised of your right to file a complaint with the FCC if you believe it is necessary.

The telephone company may make changes in its facilities, equipment, operations or procedures that could affect the operation of the equipment. If this happens the telephone company will provide advance notice in order for you to make necessary modifications to maintain uninterrupted service.

If trouble is experienced with this equipment, please contact the manufacturer, or look elsewhere in this manual, for repair or warranty information. If the equipment is causing harm to the telephone network, the telephone company may request that you disconnect the equipment until the problem is resolved.

Connection to party line service is subject to state tariffs. Contact the state public utility commission, public service commission or corporation commission for information.

If your home has specially wired alarm equipment connected to the telephone line, ensure the installation of this equipment does not disable your alarm equipment. If you have questions about what will disable alarm equipment, consult your telephone company or a qualified installer.

WHEN PROGRAMMING EMERGENCY NUMBERS AND/OR MAKING TEST CALLS TO EMERGENCY NUMBERS:

- 1) Remain on the line and briefly explain to the dispatcher the reason for the call.
- 2) Perform such activities in the off-peak hours, such as early morning or late evenings.



Note The FCC hearing aid compatibility rules for telephones are not applicable to this equipment.

The Telephone Consumer Protection Act of 1991 makes it unlawful for any person to use a computer or other electronic device, including FAX machines, to send any message unless such message clearly contains in a margin at the top or bottom of each transmitted page or on the first page of the transmission, the date and time it is sent and an identification of the business or other entity, or other individual sending the message and the telephone number of the sending machine or such business, other entity, or individual. (The telephone number provided may not be a 900 number or any other number for which charges exceed local or long-distance transmission charges.)

In order to program this information into your FAX machine, you should complete the steps described in the software.

カナダ電話網ユーザーへの告知

Note à l'attention des utilisateurs du réseau téléphonique canadien/Notice to users of the Canadian telephone network

Cet appareil est conforme aux spécifications techniques des équipements terminaux d'Industrie Canada. Le numéro d'enregistrement atteste de la conformité de l'appareil. L'abréviation IC qui précède le numéro d'enregistrement indique que l'enregistrement a été effectué dans le cadre d'une Déclaration de conformité stipulant que les spécifications techniques d'Industrie Canada ont été respectées. Néanmoins, cette abréviation ne signifie en aucun cas que l'appareil a été validé par Industrie Canada.

Pour leur propre sécurité, les utilisateurs doivent s'assurer que les prises électriques reliées à la terre de la source d'alimentation, des lignes téléphoniques et du circuit métallique d'alimentation en eau sont, le cas échéant, branchées les unes aux autres. Cette précaution est particulièrement importante dans les zones rurales.



Remarque Le numéro REN (Ringer Equivalence Number) attribué à chaque appareil terminal fournit une indication sur le nombre maximal de terminaux qui peuvent être connectés à une interface téléphonique. La terminaison d'une interface peut se composer de n'importe quelle combinaison d'appareils, à condition que le total des numéros REN ne dépasse pas 5.

Basé sur les résultats de tests FCC Partie 68, le numéro REN de ce produit est 0.0B.

This equipment meets the applicable Industry Canada Terminal Equipment Technical Specifications. This is confirmed by the registration number. The abbreviation IC before the registration number signifies that registration was performed based on a Declaration of Conformity indicating that Industry Canada technical specifications were met. It does not imply that Industry Canada approved the equipment.

Users should ensure for their own protection that the electrical ground connections of the power utility, telephone lines and internal metallic water pipe system, if present, are connected together. This precaution might be particularly important in rural areas.



Note The REN (Ringer Equivalence Number) assigned to each terminal device provides an indication of the maximum number of terminals allowed to be connected to a telephone interface. The termination on an interface might consist of any combination of devices subject only to the requirement that the sum of the Ringer Equivalence Numbers of all the devices does not exceed 5.

The REN for this product is 0.0B, based on FCC Part 68 test results.

EC 地域のユーザーに対する告知

Notice to users in the European Economic Area

This product is designed to be connected to the analog Switched Telecommunication Networks (PSTN) of the European Economic Area (EEA) countries/regions.

Network compatibility depends on customer selected settings, which must be reset to use the equipment on a telephone network in a country/region other than where the product was purchased. Contact the vendor or Hewlett-Packard Company if additional product support is necessary.

This equipment has been certified by the manufacturer in accordance with Directive 1999/5/EC (annex II) for Pan-European single-terminal connection to the public switched telephone network (PSTN). However, due to differences between the individual PSTNs provided in different countries, the approval does not, of itself, give an unconditional assurance of successful operation on every PSTN network termination point.

In the event of problems, you should contact your equipment supplier in the first instance.

This equipment is designed for DTMF tone dialing and loop disconnect dialing. In the unlikely event of problems with loop disconnect dialing, it is recommended to use this equipment only with the DTMF tone dial setting.

ドイツ電話網ユーザーへの告知

Hinweis für Benutzer des deutschen Telefonnetzwerks

Dieses HP-Fax ist nur für den Anschluss eines analogen Public Switched Telephone Network (PSTN) gedacht. Schließen Sie den TAE N-Telefonstecker, der im Lieferumfang des HP All-in-One enthalten ist, an die Wandsteckdose (TAE 6) Code N an. Dieses HP-Fax kann als einzelnes Gerät und/oder in Verbindung (mit serielltem Anschluss) mit anderen zugelassenen Endgeräten verwendet werden.

オーストラリアでの有線ファクスの接続について

In Australia, the HP device must be connected to Telecommunication Network through a line cord which meets the requirements of the Technical Standard AS/ACIF S008.

B 追加のファクス セットアップ

このセクションでは、ファクス機能が同じ電話回線上の機器やサービスと正常に動作するように、プリンターを設定する方法を説明します。

 **ヒント：** ファクス設定ウィザード (Windows) または HP セットアップ アシスタント (Mac OS X) を使用して、応答モードやファクスのヘッダー情報などの重要なファクス設定を簡単に設定することもできます。これらのツールにはプリンターにインストールしている HP ソフトウェアを通してアクセスできます。これらのツールを実行したら、このセクションで説明する手順に従ってファクスのセットアップを行います。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- [ファクス機能のセットアップ \(パラレル方式の電話システム\)](#)
- [シリアル方式のファクスのセットアップ](#)
- [ファクス設定のテスト](#)

ファクス機能のセットアップ (パラレル方式の電話システム)

ファクスを使用できるように本プリンターのセットアップを開始する前に、お住まいの国/地域で採用されている電話の種類を確認してください。採用されている電話システムの方式がシリアル方式かパラレル方式かによって、ファクスのセットアップ手順が異なります。

表 B-1 |パラレルタイプの電話の国または地域|

アルゼンチン	オーストラリア	ブラジル
カナダ	チリ	中国
コロンビア	ギリシア	インド
インドネシア	アイルランド	日本
韓国	南米	マレーシア
メキシコ	フィリピン	ポーランド
ポルトガル	ロシア	サウジアラビア
シンガポール	スペイン	台湾
タイ	アメリカ	ベネズエラ
ベトナム		

- 記載されている国/地域に、お住まいの国/地域がない場合は、シリアル方式の電話システムである可能性があります。シリアル方式の電話システムを使用する国/地域の場合は、共有する電話機器 (モデム、電話、留守番電話等) のコネクタが異なるため、本プリンターの “2-EXT” ポートに物理接続することができません。電話機器はすべて壁の電話ジャックに接続してください。

 **注記：** シリアル方式の電話システムを使用する一部の国/地域では、壁側のプラグを追加して、そこにプリンターに付属している電話コードを接続しなければならない場合があります。このようにすると、プリンターを差し込んでいる壁側のモジュラージャックに別の通信機器を接続できます。

国/地域に対して提供されたアダプター用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

- お住まいの国または地域が記載されている場合は、パラレルタイプの電話方式をご使用のほずです。パラレル方式の電話システムの場合、共有する電話機器を本プリンター背面の “2-EXT” ポートを使用して電話回線に接続できます。

 **注記：** パラレル方式の電話システムの場合は、プリンターに付属している 2 線式電話コードを使用して、壁側のモジュラージャックにプリンターを接続することをお勧めします。

シリアル方式またはパラレル方式のどちらの電話方式かわからない場合は、最寄りの電話会社にお問い合わせください。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- [自宅またはオフィス用にファクスのセットアップを選択する](#)
- [ケース A：単独のファクス回線 \(電話の着信なし\)](#)
- [ケース B：DSL 環境でのプリンターのセットアップ](#)

- [ケース C: PBX 電話システムまたは ISDN 回線の環境でのプリンターのセットアップ](#)
- [ケース D: 同じ回線でファクスと着信識別サービスを一緒に利用](#)
- [ケース E: 電話とファクスを一緒に利用する](#)
- [ケース F: 電話とファクスとボイスメール サービスを一緒に利用する](#)
- [ケース G: 同じ回線でファクスとコンピューター モデムを一緒に利用する \(電話の着信なし\)](#)
- [ケース H: ケース H: 電話とファクスとコンピューター モデムを一緒に利用する](#)
- [ケース I: 電話とファクスと留守番電話を一緒に利用する](#)
- [ケース J: 電話とファクスとコンピューター モデムと留守番電話を一緒に利用する](#)
- [ケース K: 電話とファクスとコンピューター ダイアルアップ モデムとボイスメールを一緒に利用する](#)

自宅またはオフィス用にファクスのセットアップを選択する

正常にファクスの送受信を行うには、本プリンターと同じ電話回線を共有している機器とサービスの種類を認識する必要があります。既存のオフィス機器を直接本プリンターに接続する必要性が生じたり、ファクスを正常に送受信できるようにするためにファクス設定を変更する必要性が生じる可能性があるためです。

1. 電話がシリアル方式かパラレル方式かを判断します。 [118 ページのファクス機能のセットアップ \(パラレル方式の電話システム\)](#) を参照してください。
 - a. シリアル方式の電話システムの場合 - [142 ページのシリアル方式のファクスのセットアップ](#) を参照してください。
 - b. パラレル方式の電話システムの場合 - 手順 2 に進みます。
2. ファクスと一緒に利用する機器やサービスの組み合わせを選択します。
 - DSL: 電話会社を通じてデジタル加入者線 (DSL) を利用 (DSL は、国/地域によっては ADSL と呼ばれています)。
 - PBX: 構内交換機 (PBX) システムまたは統合サービス デジタル通信網 (ISDN) システム。
 - 着信識別サービス: 電話会社の着信識別サービスでは、複数の電話番号が与えられ、その電話番号ごとに呼び出し音のパターンを変えられます。
 - 電話: 電話をプリンターのファクスに使用すると同じ電話番号で受信します。
 - コンピューター ダイアルアップ モデム: プリンターと同じ電話回線でコンピューター ダイアルアップ モデムを使用しています。次のいずれかに当てはまる場合は、コンピューター ダイアルアップ モデムを利用しています。
 - ダイアルアップ接続でコンピューターのソフトウェア アプリケーションから直接ファクスを送受信している。
 - ダイアルアップ接続でコンピューターから電子メールのメッセージを送受信している。
 - ダイアルアップ接続でコンピューターからインターネットを利用している。

- 留守番電話：プリンターのファクスに使用するのと同じ電話番号で電話に応答する留守番電話。
 - ボイス メール サービス：プリンターのファクスと同じ番号での電話会社からのボイス メール サービスへの加入。
3. 表から、自宅やオフィスの設定に当てはまる機器とサービスの組み合わせを選択してください。次に、推奨するファクス セットアップを調べます。各方法については、この後手順を追って説明します。

 **注記：** 自宅またはオフィスのセットアップがこのセクションで説明されていない場合、プリンターを通常のアナログ電話のようにセットアップします。付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラージャックに、もう一方の端を本プリンターの背面に 1-LINE と書かれているポートに接続します。他の電話コードを使用している場合は、ファクスの送受信に問題が発生することがあります。

国/地域に対して提供されたアダプター用の付属の電話コードを接続する必要がある場合があります。

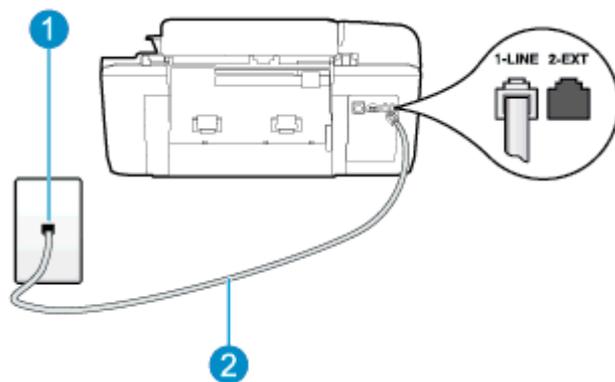
ファクスと一緒に利用する機器やサービス							推奨するファクス セットアップ
DSL	PBX	着信識別サービス	電話	コンピューターダイヤルアップモデム	留守番電話	ボイス メール サービス	
							121 ページのケース A：単独のファクス回線 (電話の着信なし)
✓							122 ページのケース B：DSL 環境でのプリンターのセットアップ
	✓						123 ページのケース C：PBX 電話システムまたは ISDN 回線の環境でのプリンターのセットアップ
		✓					124 ページのケース D：同じ回線でファクスと着信識別サービスを一緒に利用
			✓				125 ページのケース E：電話とファクスを一緒に利用する
			✓			✓	126 ページのケース F：電話とファクスとボイス メール サービスを一緒に利用する
				✓			127 ページのケース G：同じ回線でファクスとコンピューター モデムを一緒に利用する (電話の着信なし)

ファクスと一緒に利用する機器やサービス							推奨するファクスセットアップ
DSL	PBX	着信識別サービス	電話	コンピューターダイヤルアップモデム	留守番電話	ボイスメールサービス	
			✓	✓			130 ページのケース H: ケース H: 電話とファクスとコンピューターモデムと一緒に利用する
			✓		✓		134 ページのケース I: 電話とファクスと留守番電話と一緒に利用する
			✓	✓	✓		136 ページのケース J: 電話とファクスとコンピューターモデムと留守番電話と一緒に利用する
			✓	✓		✓	140 ページのケース K: 電話とファクスとコンピューターダイヤルアップモデムとボイスメールと一緒に利用する

ケース A：単独のファクス回線 (電話の着信なし)

電話を受け付けない単独の電話回線を利用し、この電話回線に機器を何も接続しない場合は、次のようにプリンターを設定します。

図 B-1 プリンターの背面図



1	壁側のモジュージャック
2	プリンター付属の電話コードを使用して 1-LINE ポートに接続します。 国/地域に対して提供されたアダプター用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

単独のファクス回線の環境にプリンターをセットアップするには

1. プリンターに付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュージャックに、もう一方の端をプリンターの背面に 1-LINE と書かれているポートに接続します。

 **注記:** 国/地域に対して提供されたアダプター用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

付属のコードで壁側のモジュージャックとプリンターを接続しないと、ファクスの送受信が正常に行われなかったりすることがあります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

2. [自動応答] の設定をオンにします。
3. (オプション)[応答呼出し回数] 設定を最小設定 (呼び出し 2 回) に変更します。
4. ファクステストを実行します。

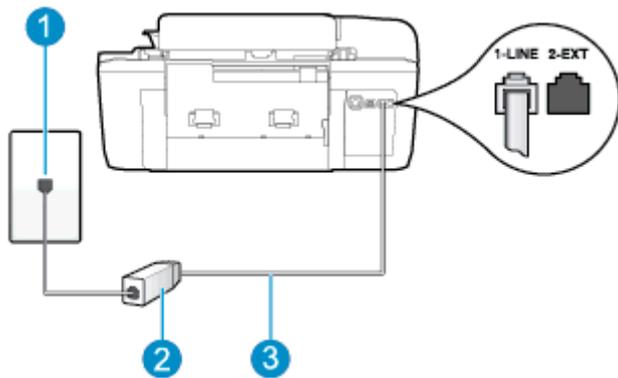
電話が鳴ると、プリンターは [応答呼出し回数] 設定で設定した呼び出し回数の後、自動的に着信に応答します。プリンターは、送信側のファクス機へのファクス受信トーンの発信を開始して、ファクスを受信します。

ケース B: DSL 環境でのプリンターのセットアップ

電話会社の DSL サービスに加入していて、本プリンターに対して他に接続している機器がない場合、このセクションでの説明に従って、壁側のモジュージャックと本プリンターの間に DSL フィルターを接続してください。DSL フィルターはプリンターに干渉する可能性のあるデジタル信号を除去することで、プリンターが電話回線と正常に通信できるようにします (DSL は、国/地域によっては ADSL と呼ばれています)。

 **注記:** DSL を利用していて DSL フィルターを取り付けていないと、プリンターでファクスを送受信できなくなります。

図 B-2 プリンターの背面図



1	壁側のモジュージャック
2	DSL プロバイダから支給された DSL (または ADSL) フィルターおよびコード
3	プリンター付属の電話コードを使用して 1-LINE ポートに接続します。 国/地域に対して提供されたアダプター用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

DSL の環境でプリンターをセットアップするには

1. DSL フィルターは、DSL プロバイダから入手してください。
2. プリンター付属の電話コードの一方の端を DSL フィルターの開いているポートに接続し、もう一方の端をプリンター背面の 1-LINE というラベルの付いたポートに接続します。

 **注記：** 国/地域に対して提供されたアダプター用の付属の電話コードを接続する必要があります。ある場合もあります。

付属のコードで DSL フィルターとプリンターを接続しないと、正常にファクスできないことがあります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

付属の電話コードは 1 本なので、このセットアップでは追加の電話コードが必要になる場合があります。

3. DSL フィルターの追加の電話コードを壁側のモジュラージャックに接続します。
4. ファクステストを実行します。

プリンターとオプション機器のセットアップで問題が生じた場合は、お近くのサービス プロバイダ、またはメーカーにお問い合わせください。

ケース C：PBX 電話システムまたは ISDN 回線の環境でのプリンターのセットアップ

PBX または ISDN コンバータ/ターミナル アダプターを使用している場合、次の指示に従ってください。

- PBX または ISDN コンバータ/ターミナル アダプターを使用している場合は、ファクスおよび電話用のポートにプリンターを接続してください。また、ターミナル アダプターがお住まいの国/地域に対応したスイッチ タイプに設定されていることも確認してください。

 **注記：** ISDN システムの中には、ユーザーが特定の電話機器に応じてポートを設定できるようになっているものがあります。たとえば、電話と G3 規格のファクスに 1 つのポートを割り当て、多目的用に別のポートを割り当てることができます。ISDN コンバータのファクス/電話ポートに接続すると問題が発生する場合は、多用途向けのポートを使用してみてください。ポートには、"multi-combi" などのようなラベルが付けられています。

- PBX システムを使用している場合は、電話の呼び出し音をオフにします。

 **注記：** デジタル PBX システムの多くは、デフォルトで電話の呼び出し音が "オン" に設定されています。電話の呼び出し音はファクスの転送を妨害するため、プリンターでのファクスの送受信ができなくなります。電話の呼び出し音をオフにする方法については、PBX システム付属のマニュアルを参照してください。

- PBX システムを使用している場合は、ファクス番号をダイヤルする前に外線番号をダイヤルします。
- 付属のコードで本プリンターと壁側のモジュラージャックを接続していることを確認します。接続していない場合、ファクスを正しく行うことはできません。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。付属の電話コードの長さが足りない場合は、最寄りの電気店でカプラーを購入し、電話コードを延長してください。

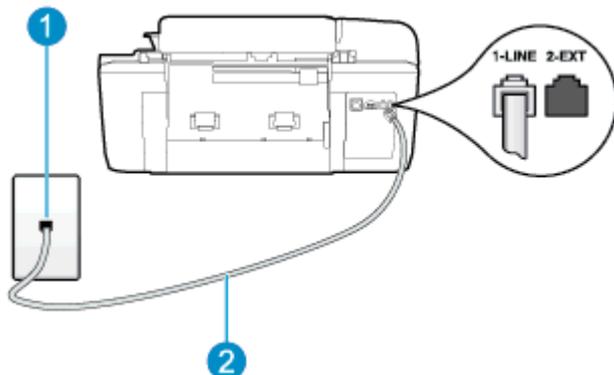
国/地域に対して提供されたアダプター用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

プリンターとオプション機器のセットアップで問題が生じた場合は、お近くのサービス プロバイダ、またはメーカーにお問い合わせください。

ケース D: 同じ回線でファクスと着信識別サービスを一緒に利用

1 本の電話回線に複数の電話番号があり、その電話番号ごとに呼び出し音のパターンを変える、電話会社の着信識別サービスを利用している場合、次のようにプリンターを設定します。

図 B-3 プリンターの背面図



1	壁側のモジュージャック
2	プリンター付属の電話コードを使用して 1-LINE ポートに接続します。 国/地域に対して提供されたアダプター用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

着信識別サービスの環境でプリンターをセットアップするには

1. プリンターに付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュージャックに、もう一方の端をプリンターの背面に 1-LINE と書かれているポートに接続します。

 **注記:** 国/地域に対して提供されたアダプター用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

付属のコードで壁側のモジュージャックとプリンターを接続しないと、ファクスの送受信が正常に行われなかったりすることがあります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

2. [自動応答] の設定をオンにします。
3. [応答呼び出し音のパターン] 設定を変更して、電話会社がお使いのファクス番号に指定した呼び出し音のパターンに合わせます。

 **注記:** デフォルトでは、プリンターは呼び出し音のすべてのパターンに応答します。お使いのファクス番号に割り当てられている呼び出しパターンに一致するように [応答呼び出し音のパターン] を設定しないと、プリンターは、電話と着信ファクスの両方に応答するか、そのどちらにも応答しない場合があります。

ヒント: プリンターのコントロールパネルにある呼び出し音のパターン検出機能を使用して、着信識別を設定することもできます。この機能により、プリンターは着信に基づいてこの着信の呼び出し音のパターンを認識および記録し、電話会社によってファクス受信に割り当てられた着信識別音のパターンを自動的に特定します。詳しくは、[51 ページのダイヤル方式を設定する](#)を参照してください。

4. (オプション)|**応答呼び出し回数**| 設定を最小設定 (呼び出し 2 回) に変更します。
5. ファクステストを実行します。

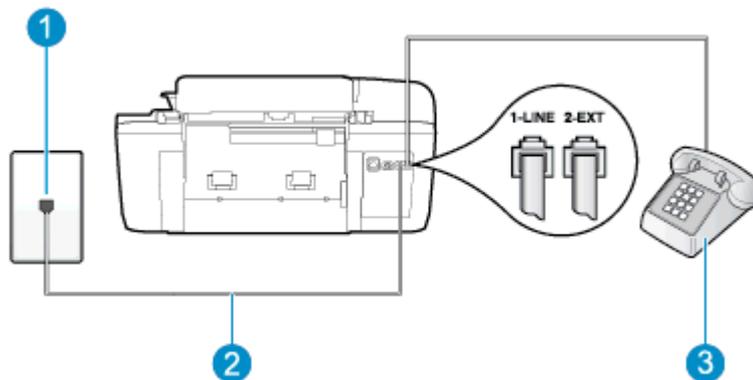
プリンターは、指定した呼び出し回数 (**|応答呼び出し音のパターン|** 設定) の後、指定した呼び出しパターン (**|応答呼び出し回数|** 設定) が割り当てられた着信に自動的に応答します。プリンターは、送信側のファクス機へのファクス受信トーンの発信を開始して、ファクスを受信します。

プリンターとオプション機器のセットアップで問題が生じた場合は、お近くのサービスプロバイダ、またはメーカーにお問い合わせください。

ケース E: 電話とファクスを一緒に利用する

同じ電話番号で電話とファクスを一緒に受け、この電話回線にオフィス機器 (またはボイスメールサービス) を何も接続しない場合は、次のようにプリンターを設定します。

図 B-4 プリンターの背面図



1	壁側のモジュージャック
2	プリンター付属の電話コードを使用して 1-LINE ポートに接続します。 国/地域に対して提供されたアダプター用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。
3	電話機 (オプション)

電話とファクスの共有回線環境にプリンターをセットアップするには

1. プリンターに付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュージャックに、もう一方の端をプリンターの背面に 1-LINE と書かれているポートに接続します。

 **注記:** 国/地域に対して提供されたアダプター用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

付属のコードで壁側のモジュージャックとプリンターを接続しないと、ファクスの送受信が正常に行われなかったりすることがあります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

2. 次のいずれかを実行してください。
 - パラレル方式の電話システムを使用している場合、プリンターの背面の 2-EXT と書かれているポートから白いプラグを抜き取り、このポートに電話を接続します。
 - シリアル方式の電話の場合は、壁のプラグが接続されたプリンターのケーブルの一番先に電話を直接接続します。
3. ここで、プリンターでのファクス呼び出し音の応答方法を、自動または手動に決めます。
 - 着信に自動的に応答するようにプリンターをセットアップすると、すべての着信に応答しファクスを受信します。この場合、プリンターはファクスと電話を区別できません。したがって呼び出しが電話であると思ったら、プリンターが応答する前に電話に出る必要があります。着信に自動的に応答するようにプリンターをセットアップするには、**[自動応答]**設定をオンにします。
 - ファクスに手動で応答するようにプリンターをセットアップする場合、ユーザーが手動で受信操作を行う必要があります。そうしないと、プリンターはファクスを受信できません。着信に手動で応答するようにプリンターをセットアップするには、**[自動応答]**設定をオフにします。
4. ファクステストを実行します。

プリンターが着信に応答する前に受話器を取って、送信側ファクス機からのファクス トーンが聞こえた場合は、手動でファクスに応答する必要があります。

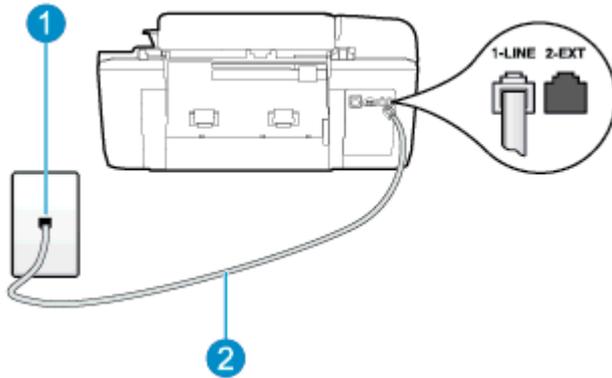
プリンターとオプション機器のセットアップで問題が生じた場合は、お近くのサービス プロバイダ、またはメーカーにお問い合わせください。

ケース F: 電話とファクスとボイスメール サービスを一緒に利用する

同じ電話番号で電話とファクスを一緒に受け、電話会社からボイスメール サービスも利用する場合は、次のようにプリンターを接続します。

 **注記:** ファクスと同じ電話番号でボイスメール サービスを利用している場合、ファクスを自動受信することはできません。すべてのファクスを手動で受信する必要があります。受信ファクスの着信に応答するためにその場にいる必要があります。ファクスを自動的に受信したい場合は、電話会社に着信識別の利用を申し込むか、ファクス用に別の電話回線を引く必要があります。

図 B-5 プリンターの背面図



1	壁側のモジュージャック
2	プリンター付属の電話コードを使用して 1-LINE ポートに接続します。 国/地域に対して提供されたアダプター用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

ボイス メール サービスの環境でプリンターをセットアップするには

1. プリンターに付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュージャックに、もう一方の端をプリンターの背面に 1-LINE と書かれているポートに接続します。

国/地域に対して提供されたアダプター用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

注記： 国/地域に対して提供されたアダプター用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

付属のコードで壁側のモジュージャックとプリンターを接続しないと、ファクスの送受信が正常に行われなくなることがあります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

2. [自動応答] 設定をオフにします。
3. ファクス テストを実行します。

ファクス着信に直接応答してください。そうしないとプリンターでファクスを受信できなくなります。ボイスメールが応答する前に手動でファクスを開始する必要があります。

プリンターとオプション機器のセットアップで問題が生じた場合は、お近くのサービス プロバイダ、またはメーカーにお問い合わせください。

ケース G: 同じ回線でファクスとコンピューター モデムを一緒に利用する (電話の着信なし)

電話を受け付けないファクス回線を利用し、この回線にコンピューター モデムを接続する場合は、次のようにプリンターをセットアップします。

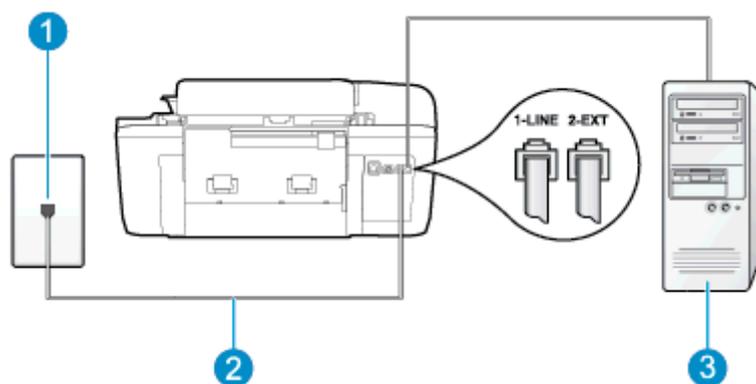
注記： コンピューターダイヤルアップモデムを使用する場合、コンピューターダイヤルアップモデムはプリンターと同じ電話回線を使用します。したがって、モデムとプリンターを同時に使用することはできません。コンピューターダイヤルアップモデムを経由して電子メールの送信やインターネットへのアクセスを実行している場合、ファクス機能は使用できません。

- [コンピューターのダイヤルアップモデム環境でプリンターをセットアップするには](#)
- [コンピューターのDSL/ADSLモデム環境でのプリンターのセットアップ](#)

コンピューターのダイヤルアップモデム環境でプリンターをセットアップするには

1つの電話回線をファクスの送信とコンピューターのダイヤルアップモデムに使用している場合は、次の手順に従ってプリンターをセットアップします。

図 B-6 プリンターの背面図



1	壁側のモジュージャック
2	プリンター付属の電話コードを使用して 1-LINE ポートに接続します。 国/地域に対して提供されたアダプター用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。
3	モデム搭載コンピューター

コンピューターダイヤルアップモデムの環境でプリンターをセットアップするには

1. プリンターの背面の 2-EXT と書かれているポートから白いプラグを抜き取ります。
2. コンピューター (コンピューターダイヤルアップモデム) の背面から壁側のモジュージャックに差し込まれている電話コードを見つけます。この電話コードを壁側モジュージャックから抜き、プリンター背面の 2-EXT というラベルの付いたポートに差し込みます。
3. プリンターに付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュージャックに、もう一方の端をプリンターの背面に 1-LINE と書かれているポートに接続します。

注記： 国/地域に対して提供されたアダプター用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

付属のコードで壁側のモジュージャックとプリンターを接続しないと、ファクスの送受信が正常に行われなかったりすることがあります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

4. モデムのソフトウェアで、ファクスをコンピューターに自動受信するよう設定している場合は、その設定を解除してください。

 **注記：** モデムのソフトウェアで自動ファクス受信の設定を解除しないと、プリンターでファクスを受信できなくなります。

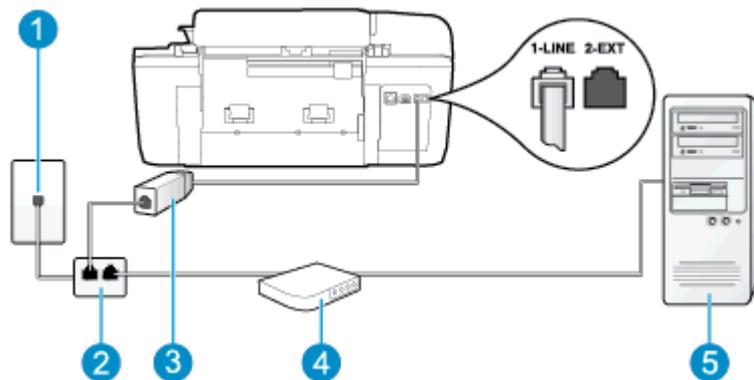
5. [自動応答] の設定をオンにします。
6. (オプション)[応答呼出し回数] 設定を最小設定 (呼び出し 2 回) に変更します。
7. ファクステストを実行します。

電話が鳴ると、プリンターは [応答呼出し回数] 設定で設定した呼び出し回数の後、自動的に着信に応答します。プリンターは、送信側のファクス機へのファクス受信トーンの発信を開始して、ファクスを受信します。

プリンターとオプション機器のセットアップで問題が生じた場合は、お近くのサービス プロバイダ、またはメーカーにお問い合わせください。

コンピューターの DSL/ADSL モデム環境でのプリンターのセットアップ

DSL 回線があり、その電話回線を使用してファクスを送信する場合は、次の手順に従ってファクスをセットアップします。



1	壁側のモジュージャック
2	パラレルスプリッター
3	DSL/ADSL フィルター プリンターに付属している壁側のモジュージャックの一方の端を、プリンター背面の 1-LINE ポートに、コードのもう一方の端を DSL/ADSL フィルターに接続します。 国/地域に対して提供されたアダプター用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。
4	コンピューターの DSL/ADSL モデム
5	コンピューター

 **注記：** パラレル スプリッターは購入する必要があります。パラレル スプリッターは前面に RJ-11 ポートが 1 つ、背面に RJ-11 ポートが 2 つあります。前面に 2 つの RJ-11 ポート、背面にプラグがある 2 線式の電話スプリッター、シリアル スプリッター、またはパラレル スプリッターは使用しないでください。

図 B-7 パラレル スプリッターの例



コンピューターの DSL/ADSL モデムの環境でプリンターをセットアップするには

1. DSL フィルターは、DSL プロバイダから入手してください。
2. プリンターに付属の電話コードの一方の端を DSL フィルタに、もう一方の端をプリンター背面の 1-LINE というラベルの付いたポートに接続します。

 **注記：** 国/地域に対して提供されたアダプター用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

付属のコードで DSL フィルターとプリンターの背面を接続しないと、正常にファクスできないことがあります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

3. DSL フィルターをパラレル スプリッターに接続します。
4. DSL モデムをパラレル スプリッターに接続します。
5. パラレル スプリッターを壁側のモジュラー ジャックに接続します。
6. ファクス テストを実行します。

電話が鳴ると、プリンターは |**応答呼出し回数**|設定で設定した呼び出し回数の後、自動的に着信に応答します。プリンターは、送信側のファクス機へのファクス受信トーンの発信を開始して、ファクスを受信します。

プリンターとオプション機器のセットアップで問題が生じた場合は、お近くのサービス プロバイダ、またはメーカーにお問い合わせください。

ケース H: ケース H: 電話とファクスとコンピューター モデムを一緒に利用する

コンピューターの電話ポートの数によって、コンピューターを使用してのプリンターのセットアップ方法が 2 つあります。はじめる前に、コンピューターの電話ポートが 1 つか 2 つかを確認してください。

 **注記：** コンピューターに 1 つの電話ポートしかない場合、図に示すようにパラレル スプリッター (カプラーとも呼びます) を購入する必要があります (パラレル スプリッターは前面に RJ-11 ポートが 1 つ、背面に RJ-11 ポートが 2 つあります。前面に 2 つの RJ-11 ポート、背面にプラグがある 2 線式の電話スプリッター、シリアル スプリッター、またはパラレル スプリッターは使用しないでください)。

- [電話とファクスとコンピューター ダイヤルアップ モデムを一緒に利用する](#)
- [電話とファクスとコンピューターの DSL/ADSL モデムを一緒に利用する](#)

電話とファクスとコンピューター ダイアルアップ モデムを一緒に利用する

電話回線をファクスと電話の両方に使用する場合は、次の手順に従ってファクスをセットアップします。

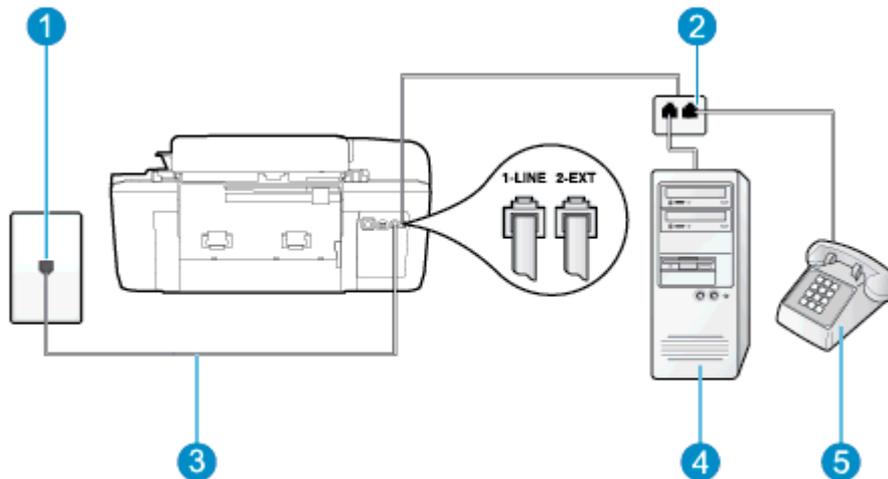
コンピューターの電話ポートの数によって、コンピューターを使用してのプリンターのセットアップ方法が2つあります。はじめる前に、コンピューターの電話ポートが1つか2つかを確認してください。

 **注記：** コンピューターに1つの電話ポートしかない場合、図に示すようにパラレルスプリッター (カプラーとも呼びます) を購入する必要があります (パラレルスプリッターは前面にRJ-11ポートが1つ、背面にRJ-11ポートが2つあります。前面に2つのRJ-11ポート、背面にプラグがある2線式の電話スプリッター、シリアルスプリッター、またはパラレルスプリッターは使用しないでください)。

図 B-8 パラレルスプリッターの例



図 B-9 プリンターの背面図



1	壁側のモジュージャック
2	パラレルスプリッター
3	プリンター付属の電話コードを使用して1-LINEポートに接続します。
4	モデム搭載コンピューター
5	電話

電話ポートが2つあるコンピューターと同じ電話回線上にプリンターをセットアップするには

1. プリンターの背面の2-EXTと書かれているポートから白いプラグを抜き取ります。
2. コンピューター (コンピューターダイアルアップモデム) の背面から壁側のモジュージャックに差し込まれている電話コードを見つけます。この電話コードを壁側モジュージャックから抜き、プリンター背面の2-EXTというラベルの付いたポートに差し込みます。
3. 電話をコンピューターダイアルアップモデムの背面の"OUT"ポートにつなぎます。

4. プリンターに付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュージャックに、もう一方の端をプリンターの背面に 1-LINE と書かれているポートに接続します。

 **注記:** 国/地域に対して提供されたアダプター用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

付属のコードで壁側のモジュージャックとプリンターを接続しないと、ファクスの送受信が正常に行われなかったりすることがあります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

5. モデムのソフトウェアで、ファクスをコンピューターに自動受信するよう設定している場合は、その設定を解除してください。

 **注記:** モデムのソフトウェアで自動ファクス受信の設定を解除しないと、プリンターでファクスを受信できなくなります。

6. ここで、プリンターでのファクス呼び出し音の応答方法を、自動または手動に決めます。

- 着信に**自動的に**応答するようにプリンターをセットアップすると、すべての着信に応答しファクスを受信します。この場合、プリンターはファクスと電話を区別できません。したがって呼び出しが電話であると思ったら、プリンターが応答する前に電話に出る必要があります。着信に自動的に応答するようにプリンターをセットアップするには、**[自動応答]**設定をオンにします。
- ファクスに**手動**で応答するようにプリンターをセットアップする場合、ユーザーが手動で受信操作を行う必要があります。そうしないと、プリンターはファクスを受信できません。着信に手動で応答するようにプリンターをセットアップするには、**[自動応答]**設定をオフにします。

7. ファクス テストを実行します。

プリンターが着信に応答する前に受話器を取って、送信側ファクス機からのファクス トーンが聞こえた場合は、手動でファクスに応答する必要があります。

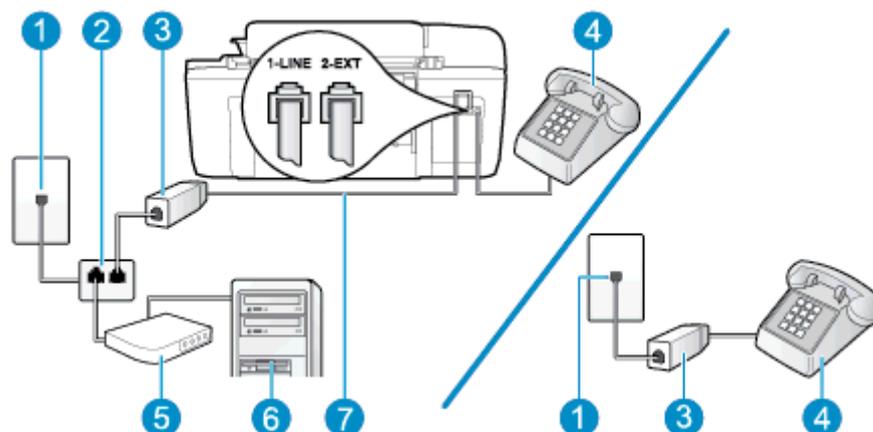
電話回線を電話、ファクス、およびコンピューターのダイヤルアップ モデムに使用する場合は、次の手順に従ってファクスをセットアップします。

プリンターとオプション機器のセットアップで問題が生じた場合は、お近くのサービス プロバイダ、またはメーカーにお問い合わせください。

電話とファクスとコンピューターの DSL/ADSL モデムを一緒に利用する

コンピューターに DSL/ADSL モデムがある場合は、次の手順に従います。

図 B-10 プリンターの背面図



1	壁側のモジュージャック
2	パラレルスプリッター
3	DSL/ADSL フィルター
4	電話
5	コンピューターの DSL/ADSL モデム
6	コンピューター
7	付属の電話コードを使用して、プリンター背面の 1-LINE ポートに接続します 国/地域に対して提供されたアダプター用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

注記： パラレルスプリッターは購入する必要があります。パラレルスプリッターは前面に RJ-11 ポートが 1 つ、背面に RJ-11 ポートが 2 つあります。前面に 2 つの RJ-11 ポート、背面にプラグがある 2 線式の電話スプリッター、シリアルスプリッター、またはパラレルスプリッターは使用しないでください。

図 B-11 パラレルスプリッターの例



コンピューターのDSL/ADSL モデムの環境でプリンターをセットアップするには

1. DSL フィルターは、DSL プロバイダから入手してください。

 **注記:** DSL サービスと同じ電話番号を共有している自宅やオフィスの他の場所にある電話は、追加のDSL フィルターに接続して、電話をかけたときにノイズが発生しないようにする必要があります。

2. プリンターに付属の電話コードの一方の端をDSL フィルターに、もう一方の端をプリンター背面の1-LINE というラベルの付いたポートに接続します。

 **注記:** 国/地域に対して提供されたアダプター用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

付属のコードでDSL フィルターとプリンターの背面を接続しないと、正常にファクスできないことがあります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

3. 平行方式の電話システムを使用している場合、プリンターの背面の2-EXT と書かれているポートから白いプラグを抜き取り、このポートに電話を接続します。
4. DSL フィルターを平行スプリッターに接続します。
5. DSL モデムを平行スプリッターに接続します。
6. 平行スプリッターを壁側のモジュラー ジャックに接続します。
7. ファクス テストを実行します。

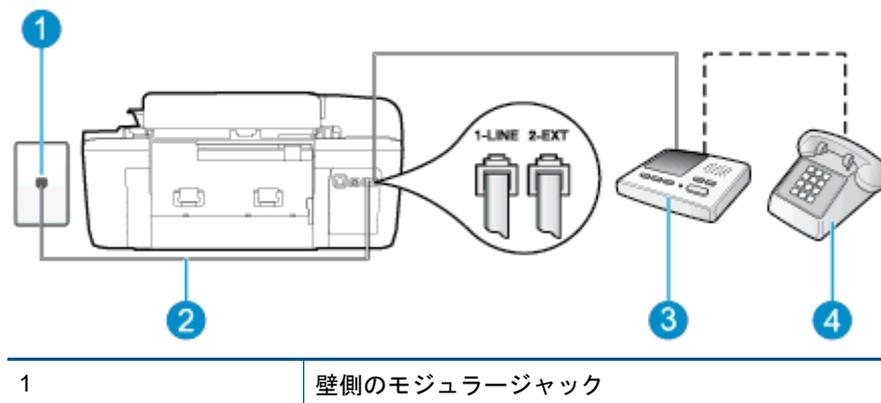
電話が鳴ると、プリンターは |**応答呼出し回数**|設定で設定した呼び出し回数した後、自動的に着信に応答します。プリンターは、送信側のファクス機へのファクス受信トーンの発信を開始して、ファクスを受信します。

プリンターとオプション機器のセットアップで問題が生じた場合は、お近くのサービス プロバイダ、またはメーカーにお問い合わせください。

ケース I: 電話とファクスと留守番電話を一緒に利用する

同じ電話番号で電話とファクスを一緒に受け、この電話番号で留守番電話も接続する場合は、次のようにプリンターを設定します。

図 B-12 プリンターの背面図



2	付属の電話コードを使用して、プリンター背面の 1-LINE ポートに接続します 国/地域に対して提供されたアダプター用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。
3	留守番電話
4	電話機 (オプション)

電話とファクスと留守番電話を一緒に利用する環境でプリンターをセットアップするには

1. プリンターの背面の 2-EXT と書かれているポートから白いプラグを抜き取ります。
2. 留守番電話のコードを壁側のモジュージャックから抜き、プリンターの背面の 2-EXT と書かれているポートに差し込みます。

 **注記：** プリンターに留守番電話を直接接続していないと、送信側ファクスからのファクス トーンが留守番電話に記録されてしまい、プリンターでファクスを受信できないことがあります。

3. プリンターに付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュージャックに、もう一方の端をプリンターの背面に 1-LINE と書かれているポートに接続します。

 **注記：** 国/地域に対して提供されたアダプター用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

付属のコードで壁側のモジュージャックとプリンターを接続しないと、ファクスの送受信が正常に行われないことがあります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使っている電話コードとは異なります。

4. (オプション) 留守番電話に電話が内蔵されていない場合は、必要に応じて留守番電話の背面にある "OUT" ポートに電話をつなぐこともできます。

 **注記：** 留守番電話が外部の電話に接続できない場合、留守番電話と電話の両方をプリンターに接続するためにパラレル スプリッター (カプラーとも呼びます) を購入して使います。これらの接続には、標準の電話コードを使用できます。

5. [自動応答] の設定をオンにします。
6. 少ない呼び出し回数で応答するように留守番電話を設定します。
7. プリンターの [応答呼出し回数] 設定を変更し、呼び出し回数をサポートされている最大数に設定します (呼び出しの最大回数は、国/地域によって異なります。)
8. ファクス テストを実行します。

電話が鳴ると、設定した呼び出し回数の後で留守番電話が応答し、あらかじめ録音した応答メッセージが再生されます。この間、プリンターは着信を監視して、ファクス トーンを「リッスン」します。着信ファクス トーンが検出されると、プリンターはファクス受信トーンを発信してファクスを受信します。ファクス トーンが検出されないと、プリンターは回線の監視を停止し、留守番電話が音声メッセージを録音できる状態になります。

プリンターとオプション機器のセットアップで問題が生じた場合は、お近くのサービス プロバイダ、またはメーカーにお問い合わせください。

ケース J: 電話とファクスとコンピューター モデムと留守番電話を一緒に利用 する

同じ電話番号で電話とファクスを一緒に受け、この電話回線にコンピューター モデムと留守番電話も接続する場合は、次のようにプリンターをセットアップします。

 **注記:** コンピューター モデムとプリンターは同じ回線を使用しているため、モデムとプリンターを同時に使用することはできません。コンピューター ダイアルアップ モデムを経由して電子メールの送信やインターネットへのアクセスを実行している場合、ファクス機能は使用できません。

- [電話とファクスとコンピューター ダイアルアップ モデムと留守番電話を一緒に利用する](#)
- [電話とファクスとコンピューター DSL/ADSL モデムと留守番電話を一緒に利用する](#)

電話とファクスとコンピューター ダイアルアップ モデムと留守番電話を一緒に利用する

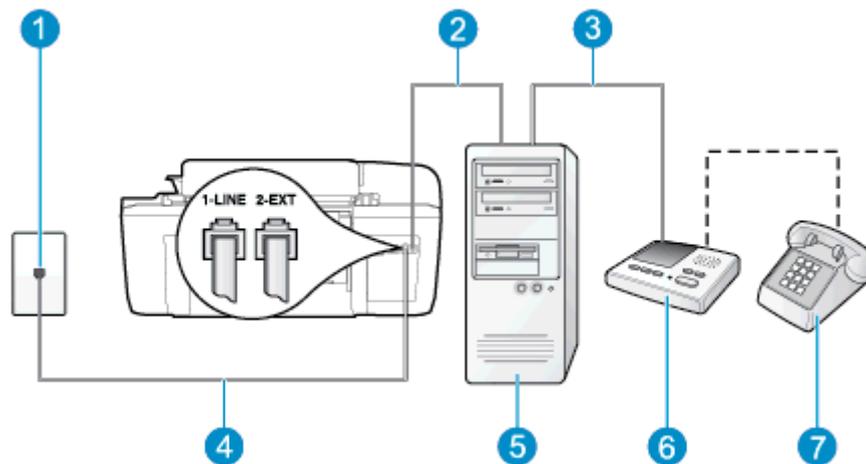
コンピューターの電話ポートの数によって、コンピューターを使用するプリンターのセットアップ方法が2つあります。はじめる前に、コンピューターの電話ポートが1つか2つかを確認してください。

 **注記:** コンピューターに1つの電話ポートしかない場合、図に示すようにパラレル スプリッター (カプラーとも呼びます) を購入する必要があります (パラレル スプリッターは前面に RJ-11 ポートが1つ、背面に RJ-11 ポートが2つあります。前面に2つの RJ-11 ポート、背面にプラグがある2線式の電話スプリッター、シリアル スプリッター、またはパラレル スプリッターは使用しないでください)。

図 B-13 パラレル スプリッターの例



図 B-14 プリンターの背面図



1	壁側のモジュージャック
2	コンピューターの "IN" 電話ポート
3	コンピューターの "OUT" 電話ポート

4	プリンター付属の電話コードを使用して 1-LINE ポートに接続します。 国/地域に対して提供されたアダプター用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。
5	モデム搭載コンピューター
6	留守番電話
7	電話機 (オプション)

電話ポートが2つあるコンピューターと同じ電話回線上にプリンターをセットアップするには

1. プリンターの背面の 2-EXT と書かれているポートから白いプラグを抜き取ります。
2. コンピューター (コンピューター ダイアルアップ モデム) の背面から壁側のモジュージャックに差し込まれている電話コードを見つけます。この電話コードを壁側モジュージャックから抜き、プリンター背面の 2-EXT というラベルの付いたポートに差し込みます。
3. 留守番電話のコードを壁側のモジュージャックから抜き、コンピューター背面 (コンピューター モデム) の “OUT” というラベルの付いたポートに接続します。
4. プリンターに付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュージャックに、もう一方の端をプリンターの背面に 1-LINE と書かれているポートに接続します。

 **注記:** 国/地域に対して提供されたアダプター用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

付属のコードで壁側のモジュージャックとプリンターを接続しないと、ファクスの送受信が正常に行われなくなることがあります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

5. (オプション) 留守番電話に電話が内蔵されていない場合は、必要に応じて留守番電話の背面にある “OUT” ポートに電話をつなぐこともできます。

 **注記:** 留守番電話が外部の電話に接続できない場合、留守番電話と電話の両方をプリンターに接続するためにパラレルスプリッター (カプラーとも呼びます) を購入して使用します。これらの接続には、標準の電話コードを使用できます。

6. モデムのソフトウェアで、ファクスをコンピューターに自動受信するよう設定している場合は、その設定を解除してください。

 **注記:** モデムのソフトウェアで自動ファクス受信の設定を解除しないと、プリンターでファクスを受信できなくなります。

7. [自動応答] の設定をオンにします。
8. 少ない呼び出し回数で応答するように留守番電話を設定します。
9. プリンターの [応答呼び出し回数] 設定を変更し、製呼び出し回数をサポートされている最大数に設定します (呼び出しの最大回数は、国/地域によって異なります。)
10. ファクステストを実行します。

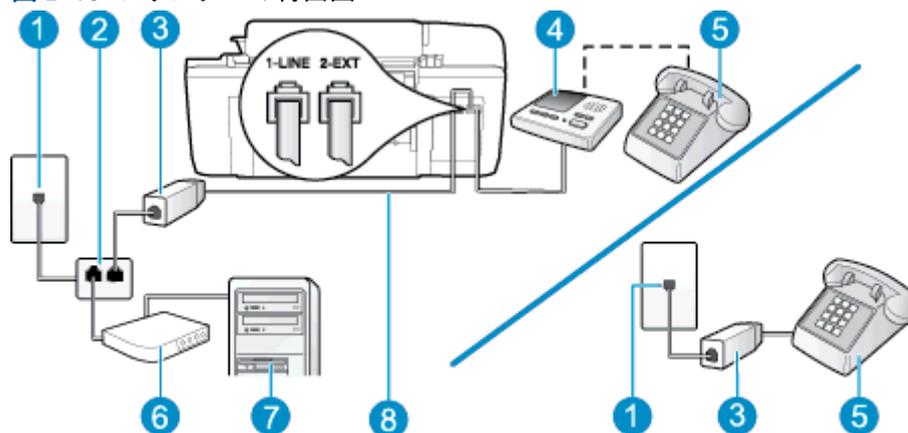
電話が鳴ると、設定した呼び出し回数の中で留守番電話が応答し、あらかじめ録音した応答メッセージが再生されます。この間、プリンターは着信を監視して、ファクス トーンを「リッスン」します。着信ファクス トーンが検出されると、プリンターはファクス受信 トーンを発信してファクスを受信し

ます。ファクストーンが検出されないと、プリンターは回線の監視を停止し、留守番電話が音声メッセージを録音できる状態になります。

プリンターとオプション機器のセットアップで問題が生じた場合は、お近くのサービス プロバイダ、またはメーカーにお問い合わせください。

電話とファクスとコンピューター DSL/ADSL モデムと留守番電話を一緒に利用する

図 B-15 プリンターの背面図



1	壁側のモジュージャック
2	パラレル スプリッター
3	DSL/ADSL フィルター
4	留守番電話
5	電話機 (オプション)
6	DSL/ADSL モデム
7	コンピューター
8	プリンター背面の 1-LINE ポートに接続されているプリンター付属の電話コード 国/地域に対して提供されたアダプター用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

注記： パラレル スプリッターは購入する必要があります。パラレル スプリッターは前面に RJ-11 ポートが 1 つ、背面に RJ-11 ポートが 2 つあります。前面に 2 つの RJ-11 ポート、背面にプラグがある 2 線式の電話スプリッター、シリアル スプリッター、またはパラレル スプリッターは使用しないでください。

図 B-16 パラレル スプリッターの例



コンピューターの DSL/ADSL モデムの環境でプリンターをセットアップするには

1. DSL/ADSL フィルターは、DSL/ADSL プロバイダから入手してください。

 **注記：** DSL/ADSL サービスと同じ電話番号を共有している自宅やオフィスの他の場所にある電話は、追加の DSL/ADSL フィルターに接続して、電話をかけたときにノイズが発生しないようにする必要があります。

2. プリンターに付属の電話コードの一方の端を DSL/ADSL フィルターに、もう一方の端をプリンター背面の 1-LINE というラベルの付いたポートに接続します。

 **注記：** 国/地域に対して提供されたアダプター用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

付属のコードで DSL/ADSL フィルターとプリンターを接続しないと、正常にファクスできないことがあります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

3. DSL/ADSL フィルターをスプリッターに接続します。
4. 留守番電話のコードを壁側のモジュラージャックから抜き、プリンター背面の 2-EXT というラベルの付いたポートに差し込みます。

 **注記：** プリンターに留守番電話を直接接続していないと、送信側ファクスからのファクストーンが留守番電話に記録されてしまい、プリンターでファクスを受信できないことがあります。

5. DSL モデムをパラレルスプリッターに接続します。
6. パラレルスプリッターを壁側のモジュラージャックに接続します。
7. 少ない呼び出し回数で応答するように留守番電話を設定します。
8. プリンターの **[応答呼出し回数]** 設定を変更し、呼び出し回数をサポートされている最大数に設定します

 **注記：** 呼び出しの最大回数は、国/地域によって異なります。

9. ファクステストを実行します。

電話が鳴ると、設定した呼び出し回数その後で留守番電話が応答し、あらかじめ録音した応答メッセージが再生されます。この間、プリンターは着信を監視して、ファクストーンを「リッスン」します。着信ファクストーンが検出されると、プリンターはファクス受信トーンを発信してファクスを受信します。ファクストーンが検出されないと、プリンターは回線の監視を停止し、留守番電話が音声メッセージを録音できる状態になります。

同じ電話回線を電話とファクスに使用しており、コンピューターの DSL モデムがある場合は、次の手順に従ってファクスをセットアップします。

プリンターとオプション機器のセットアップで問題が生じた場合は、お近くのサービスプロバイダ、またはメーカーにお問い合わせください。

ケース K: 電話とファクスとコンピューター ダイアルアップ モデムとボイス メールを一緒に利用する

同じ電話番号で電話とファクスを一緒に受け、この電話回線でコンピューター ダイアルアップ モデムも利用して電話会社からボイスメール サービスも利用する場合は、次のようにプリンターを設定します。

 **注記：** ファクスと同じ電話番号でボイス メール サービスを利用している場合、ファクスを自動受信することはできません。すべてのファクスを手動で受信する必要があります。受信ファクスの着信に応答するためにその場にいる必要があります。ファクスを自動的に受信したい場合は、電話会社に着信識別の利用を申し込むか、ファクス用に別の電話回線を引く必要があります。

コンピューター モデムとプリンターは同じ回線を使用しているため、モデムとプリンターを同時に使用することはできません。コンピューター ダイアルアップ モデムを経由して電子メールの送信やインターネットへのアクセスを実行している場合、ファクス機能は使用できません。

コンピューターの電話ポートの数によって、コンピューターを使用するプリンターのセットアップ方法が2つあります。はじめる前に、コンピューターの電話ポートが1つか2つかを確認してください。

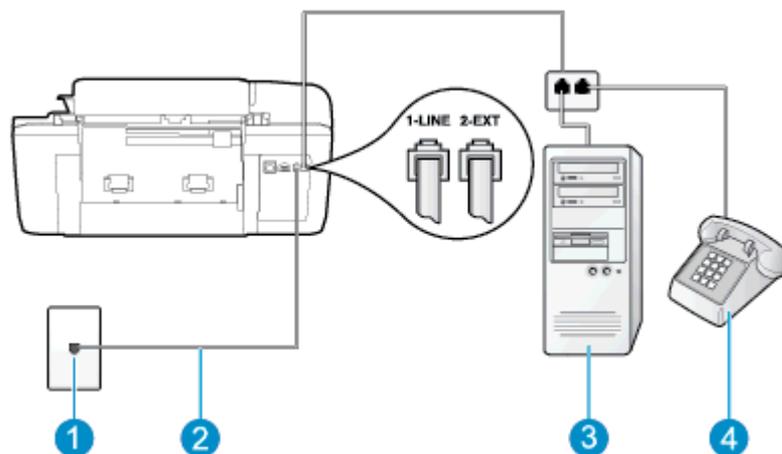
- コンピューターに1つの電話ポートしかない場合、図に示すようにパラレルスプリッター (カプラーとも呼びます) を購入する必要があります (パラレルスプリッターは前面にRJ-11ポートが1つ、背面にRJ-11ポートが2つあります。前面に2つのRJ-11ポート、背面にプラグがある2線式の電話スプリッター、シリアルスプリッター、またはパラレルスプリッターは使用しないでください)。

図 B-17 パラレルスプリッターの例



- お住まいの国または地域が表にあれば、パラレルタイプの電話方式をご使用のはずですが、パラレル方式の電話システムの場合、共有する電話機器を本プリンター背面の“2-EXT”ポートを使用して電話回線に接続できます。

図 B-18 プリンターの背面図



1

壁側のモジュージャック

2	プリンター付属の電話コードを使用して 1-LINE ポートに接続します。 国/地域に対して提供されたアダプター用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。
3	モデム搭載コンピューター
4	電話

電話ポートが2つあるコンピューターと同じ電話回線上にプリンターをセットアップするには

1. プリンターの背面の 2-EXT と書かれているポートから白いプラグを抜き取ります。
2. コンピューター (コンピューター ダイアルアップ モデム) の背面から壁側のモジュラージャックに差し込まれている電話コードを見つけます。この電話コードを壁側モジュラージャックから抜き、プリンター背面の 2-EXT というラベルの付いたポートに差し込みます。
3. 電話をコンピューター ダイアルアップ モデムの背面の "OUT" ポートにつなぎます。
4. プリンターに付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラージャックに、もう一方の端をプリンターの背面に 1-LINE と書かれているポートに接続します。

 **注記:** 国/地域に対して提供されたアダプター用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

付属のコードで壁側のモジュラージャックとプリンターを接続しないと、ファクスの送受信が正常に行われなくなることがあります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

5. モデムのソフトウェアで、ファクスをコンピューターに自動受信するよう設定している場合は、その設定を解除してください。

 **注記:** モデムのソフトウェアで自動ファクス受信の設定を解除しないと、プリンターでファクスを受信できなくなります。

6. [自動応答] 設定をオフにします。
7. ファクステストを実行します。

ファクス着信に直接応答してください。そうしないとプリンターでファクスを受信できなくなります。

プリンターとオプション機器のセットアップで問題が生じた場合は、お近くのサービス プロバイダ、またはメーカーにお問い合わせください。

シリアル方式のファクスのセットアップ

シリアル方式の電話システムを使用してファクス用にプリンターをセットアップする方法の詳細については、お住まいの国/地域のファクス構成専用 Web サイトを参照してください。

オーストリア	www.hp.com/at/faxconfig
ドイツ	www.hp.com/de/faxconfig
スイス (フランス語)	www.hp.com/ch/fr/faxconfig
スイス (ドイツ語)	www.hp.com/ch/de/faxconfig
イギリス	www.hp.com/uk/faxconfig
フィンランド	www.hp.fi/faxconfig
デンマーク	www.hp.dk/faxconfig
スウェーデン	www.hp.se/faxconfig
ノルウェイ	www.hp.no/faxconfig
オランダ	www.hp.nl/faxconfig
ベルギー (オランダ語)	www.hp.be/nl/faxconfig
ベルギー (フランス語)	www.hp.be/fr/faxconfig
ポルトガル	www.hp.pt/faxconfig
スペイン	www.hp.es/faxconfig
フランス	www.hp.com/fr/faxconfig
アイルランド	www.hp.com/ie/faxconfig
イタリア	www.hp.com/it/faxconfig

ファクス設定のテスト

プリンターの状態を確認し、ファクスを使用できるようにプリンターが正しくセットアップされていることを確認するために、ファクスセットアップをテストできます。ファクスを使用するためにプリンターを設定したら、このテストを実行してください。テストの内容は次のとおりです。

- ファクスのハードウェアをテストする
- 正しい種類の電話コードがプリンターに接続されていることを確認する
- 電話線が正しいポートに接続されていることを確認する
- ダイヤル トーンを検出します。
- 電話回線の接続状態をテストする
- アクティブな電話回線を検出する

テスト結果は、レポートとして印刷されます。テストに失敗した場合、レポートを参照して、問題の解決方法を確認し、テストを再実行してください。

プリンターのコントロールパネルからファクス設定をテストするには

1. ご家庭や職場に適した設定方法で、プリンターのファクス設定を行います。
2. テストを行う前に、インクカートリッジを取り付け、給紙トレイに普通紙をセットします。
3. プリンターディスプレイのホーム画面で [上] ボタンと [下] ボタンを押し、[ファクス] を選択して [OK] を押します。
4. [設定]、[詳細設定]、[ファクス設定ウィザード] の順に選択し、画面の指示に従います。
プリンターのディスプレイにテストの状態が表示され、レポートが印刷されます。
5. レポートの内容を確認します。
 - テストに合格してもファクスの問題が解消されない場合は、レポートに記載されているファクス設定を調べて、正しく設定されていることを確認します。ファクス設定が行われていない、または不適切な場合は、ファクスに問題が発生する可能性があります。
 - テストにパスしなかった場合は、レポートで問題の解決方法を確認します。

索引

A

ADSL、ファックスのセットアップ
 平行方式の電話システム
 122

D

DSL、ファックスのセットアップ
 平行方式の電話システム
 122

I

ISDN 回線、ファックスのセットアップ
 平行方式の電話システム
 123

P

PBX システム、ファックスのセットアップ
 平行方式の電話システム
 123

い

印刷
 仕様 102

お

応答呼び出し音のパターン
 平行方式の電話システム
 124

か

カスタマ サポート
 保証 92

環境

環境仕様 101
 環境保全のためのプロダクト
 スチュワード プログラム
 105

き

技術情報
 印刷の仕様 102
 環境仕様 101
 コピーの仕様 102
 システム要件 101
 スキャンの仕様 102
 ファックスの仕様 103
 規制に関する告知 109
 規制モデルの ID 番号 109

こ

コピー
 仕様 102
 コントロール パネル
 機能 6
 ボタン 6
 コンピューター モデム
 ファクスおよび電話回線との共有 (平行方式の電話システム) 130
 ファクスおよびボイス メールとの共有 (平行方式の電話システム) 140
 ファクスおよび留守番電話との共有 (平行方式の電話システム) 136
 ファクスとの共有 (平行方式の電話システム) 127

さ

サポート プロセス 91

し

システム要件 101

す

スキャン
 スキャンの仕様 102

せ

設定
 ファックスのテスト 143
 セットアップ
 DSL (平行方式の電話システム) 122
 ISDN 回線 (平行方式の電話システム) 123
 PBX システム (平行方式の電話システム) 123
 共有電話回線 (平行方式の電話システム) 125
 コンピューター モデム (平行方式の電話システム) 127
 コンピューター モデムと電話回線 (平行方式の電話システム) 130
 コンピューター モデムとボイス メール (平行方式の電話システム) 140
 コンピューター モデムと留守番電話 (平行方式の電話システム) 136
 単独のファクス回線 (平行方式の電話システム) 121
 着信識別 (平行方式の電話システム) 124
 ボイス メール (平行方式の電話システム) 126
 ボイス メールとコンピューター モデム (平行方式の電話システム) 140

留守番電話 (パラレル方式の電話システム) 134
留守番電話とモデム (パラレル方式の電話システム) 136

た
ダイヤルアップ モデム
ファクスおよび電話回線との共有 (パラレル方式の電話システム) 130
ファクスおよびボイス メールとの共有 (パラレル方式の電話システム) 140
ファクスおよび留守番電話との共有 (パラレル方式の電話システム) 136
ファクスとの共有 (パラレル方式の電話システム) 127

ち
着信識別
パラレル方式の電話システム 124

て
テスト、ファクス
設定 143
電話サポート期間後 92
電話サポート期間
サポート期間 92
電話によるサポート 91

は
パラレル方式の電話システム
DSL のセットアップ 122
ISDN セットアップ 123
PBX セットアップ 123
共有回線のセットアップ 125
単独回線のセットアップ 121
着信識別のセットアップ 124
電話回線と共有するモデムのセットアップ 130
モデムとボイスメールのセットアップ 140
モデムと留守番電話のセットアップ 136
モデムのセットアップ 127
留守番電話のセットアップ 134

ふ
ファクス
DSL、セットアップ (パラレル方式の電話システム) 122
ISDN 回線、セットアップ (パラレル方式の電話システム) 123
PBX システム、セットアップ (パラレル方式の電話システム) 123
共有電話回線のセットアップ (パラレル方式の電話システム) 125
設定のテスト 143
単独回線のセットアップ (パラレル方式の電話システム) 121
着信識別のセットアップ (パラレル方式の電話システム) 124
ファクスの仕様 103
ボイスメール、セットアップ (パラレル方式の電話システム) 126
モデムと電話回線、共有 (パラレル方式の電話システム) 130
モデムとボイスメール、共有 (パラレル方式の電話システム) 140
モデムと留守番電話、共有 (パラレル方式の電話システム) 136
モデム、共有 (パラレル方式の電話システム) 127
留守番電話とモデム、共有 (パラレル方式の電話システム) 136
留守番電話、セットアップ (パラレル方式の電話システム) 134

ほ
ボイスメール
ファクスおよびコンピューターモデムとのセットアップ (パ

ラレル方式の電話システム) 140
ファクスのセットアップ (パラレル方式の電話システム) 126
保証 92
ボタン、コントロールパネル 6

も
モデム
ファクスおよび電話回線との共有 (パラレル方式の電話システム) 130
ファクスおよびボイスメールとの共有 (パラレル方式の電話システム) 140
ファクスおよび留守番電話との共有 (パラレル方式の電話システム) 136
ファクスとの共有 (パラレル方式の電話システム) 127

よ
用紙
推奨する種類 20

り
リサイクル
インクカートリッジ 106

る
留守番電話
ファクスおよびモデムとのセットアップ 136
ファクスのセットアップ (パラレル方式の電話システム) 134